

## FEther PCI-TXL

# 取扱説明書

http://www.corega.co.jp/

PN J613-M3515-00 Rev.A 000524



## ご使用にあたってのお願い

### 次のような場所での使用や保管はしないでください。

- 直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度95%以下の環境でご使用ください)
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因になります)
- 腐食性ガスの発生する場所



#### 静雷気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、 コネクターの接点部分などに素手で触れないでください。

### 取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



清掃するときは電源を切った状態で <sup>誤動作の原因になります。</sup>

お手入れには次のものは使わないでください ・ 石油・みがき粉・シンナー・ペンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん (化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。)







## はじめに

この度は「corega FEther PCI-TXL」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございま す。この取扱説明書は本製品を正しくご使用いただくための手引きです。必要なときにい つでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管していただきますようお願いいたし ます。

内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです(下記以外に添付紙が同梱されている場合が あります)。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、 お手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

- corega FEther PCI-TXL 本体
- ドライバーディスク(1枚)
- 取扱説明書 / 保証書(本書)
- シリアル番号シール

この取扱説明書の構成

この取扱説明書は 下図のような構成になっています。ご使用のオペレーティングシステム (OS)に応じて、図のように読み進んでください。OS(ドライバー)に依存したトラブルシュー ティング(エラーメッセージ)は 各章ごとに説明されています。OSに依存しないネットワー クに関するトラブルについては 第8章で説明されています。



ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライブ名として下記を仮定して説明しています。ご使用のコンピュータでドライ ブ名が異なる場合は、ご使用のコンピュータにおけるものと読み替えてください。

- •「フロッピーディスクドライブ」として「A:」
- •「起動ドライブ (ハードディスク)」として「C:」
- •「CD-ROM ドライブ」として「D:」

は	じめに	. 4
1	概要	. 8
	1.1 特長	8
	1.2 使用環境	8
	1.2.1 対応コンピュータ機種	8
	1.2.2 対応オペレーティングシステム	
	1.3 各部の名称と働き	
	1.3.1 各部の説明	. 9
	1.3.2 動作表示 LED	.10
	1.4 ドライバーディスク	.11
2	ハードウェアの設定	12
	21 コンピュータへの取り付け・取り外し	12
	211 コンピュータへの取り付け	12
	212 コンピュータからの取り外し	13
	22 イーサネットへの接続	13
	2.2.1 本製品とネットワークケーブルとの接続	.13
	2.2.2 リンクの確認	.14
3	Windows98	15
	31 ドライバーのインストール	15
	3.1.1 用音するもの	15
	3.1.2 新規インストール	.15
	32 インストールの確認とアダプターの設定	19
	3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認	19
	3.2.2 ネットワークの設定	.22
	323 ドライバーの設定	22
	3.3 ドライバーの更新	.24
	3.4 ドライバーの削除	.29
	35 ドライバーの再インストール	31
	3.6 ドライバーのトラブル	.31
	3.6.1 デバイスマネージャで正常に認識されない	.31
	3.6.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く	.32
	3.6.3 違うドライバーがインストールされた	.32
	3.6.4 リソース値重複の回避	.32
	3.6.5 ご使用コンピュータの確認	.33
4	Windows95	34
	4.1 ドライバーのインストール	.34
	411 用音するもの	34

	4.1.2 Windows95 のバージョンの確認	34
	4.1.3 新規インストール	35
	4.2 インストールの確認とアダプターの設定	40
	4.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認	40
	4.2.2 ネットワークの設定	43
	423 ドライバーの設定	43
	43 ドライバーの削除	45
	4.6 ドライバーの東インストール	46
		47
	4.5 1 デバイフフネージャで正常に初端されたい	
		/ <del>4</del>
	4.5.3 リソース恒星後の凹壁	40
	4.5.4 こ使用コノビュータの唯認	49
F	Windows NT Vor 40	F 0
э		50
	5.1 インストール時のご注意	50
	5.2 ドライバーのインストール	51
	5.2.1 用意するもの	51
	5.2.2 新規インストール	51
	5.3 インストールの確認とアダプターの設定	61
	5.3.1 リソース値の確認	61
	5.3.2 ドライバーの設定	62
	5.4 本製品を使用しないとき	64
	5.5 ドライバーの削除	65
	5.6 ドライバーの再インストール	66
6	Windows 2000	67
	6.1 ドライバーのインストール	67
	6.1.1 用意するもの	67
	6.1.2 新規インストール	
	62 インストールの確認とアダプターの設定	71
	621 デバイスマネージャによるインストールの確認	71
	6.2.1 アバイス (4) アドによ ジャンパー かの確認	73
	6.2.2 ドライバーの設定	70
	6.2.5 イノイハ の政定	75
		75
	6.5 本彩品を一時的に使用しないとさ	80
	6.6 トライハーのトラノル	82
	6.6.1 本製品を認識しない	
	6.6.2 '近くのコンビュータ」が表示されない	83
	6.6.3 こ使用コンビュータの確認	84
-		0-
1	イットリークの設正	85
	7.1 Windows98/95	85
	7.1.1 ネットワーク接続をするための設定方法	85

	7.1.2 ネットワークコンポーネントの確認	
	7.1.3 「 Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加	
	7.1.4 「 Microsoft ネットワーククライアント」の追加	
	7.1.5 プロトコル ( TCP/IP または NetBEUI ) の追加	
7	7.2 Windows 2000	90
7	7.3 識別情報の確認	91
7	7.4 コンピュータのディスク共有設定	94
7	7.5 他のコンピュータへの接続	95
8 7	ネットワークのトラブル	97
8	8.1 LINK LEDは点灯していますか?	97
8	8.2 LINK LEDは点灯しているが	97
8	8.3 Auto-Negotiation 機能	
8	8.4 ハードウェアの故障	98
付錡	₹	99
A	A 製品仕様	
E	B ネットワークインターフェース	100
C	C MACアドレス	101
C	D 保証と修理について	101
E	E ユーザーサボート	102
F	ト おことわり	106
調査	查依頼書	108

## 1 概要

本製品の特長、使用環境、各部の名称について説明します。

### 1.1 特長

本製品はPCI 規格に適合したバスを持つコンピュータを Fast Ethernet LAN システムに接続 するための LAN アダプターです。

本製品は IEEE802.3 10BASE-T 規格とともに、IEEE802.3u Fast Ethernet 規格に準じた 100BASE-TX 規格に適合しており、ご使用のネットワーク環境に応じて 100M/10M Ethernet を自動的に切り替えて動作します。

- 32bit バス・マスタ転送方式を採用
- 100M/10Mbps 通信を同一のポート(RJ-45 コネクター)でサポート(自動切替)
- 100M/10Mbps 通信でFull duplex (全二重)通信が可能(自動切替/手動切替可能)
- PCI BIOS によるオートコンフィグレーション(1/0アドレス、インタラプトレベルの 自動設定)<sup>1</sup>
- 動作状態を表示する3個のLEDが付属
- Auto-negotiation 機能搭載
- レジューム機能について

本製品を使用中は、レジューム機能は使用しないでください。本製品を使用中 にコンピュータがサスペンド状態になった場合、通信の切断や、その他予期し ないエラーが発生することがあります。

### 1.2 使用環境

#### 1.2.1 対応コンピュータ機種

本製品は、PCIバスコネクターを持つ以下のコンピュータ機種に対応しています。

AT 互換機および NEC PC98-NX

<sup>1.</sup> 本製品のドライパーをインストールすると、PCIローカルパス仕様により、ハードウェ アリソースが自動設定され、管理されます。但し、本製品を plug & play に対応したい ない他の拡張アダブターと併用する場合は、拡張アダブターのための設定をコンピュー タに施す必要があります。拡張 アダブターや PCI パスの設定方法(セットアップユー ティリティなど)に関しては、ご使用コンピュータのマニュアルをご覧になるか、コン ピュータメーカーにお問い合せください。

### 1.2.2 対応オペレーティングシステム

本製品は、次のオペレーティングシステム(OS)に対応しています(日本語版のみ)。

- Windows95
- Windows98 (Windows98 Second Editionを含む)
- Windows 2000
- Windows NT4.0

## 1.3 各部の名称と働き

### 1.3.1 各部の説明



図 1.3.1-1 外観図

#### 1 概要

シリアル番号シール

製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンコードが記載されています。 これらはユー ザーサポートへの問い合わせの際に必要となります。

動作表示LED(ランプ)

動作状態を 3 個の LED (ランプ) で表示します。 詳細は「1.3.2 動作表示 LED」をご 覧ください。

MAC アドレスラベル

各製品に固有の MAC アドレスが記載されています。 MAC アドレスについては「C MAC アドレス」(p.101)をご覧ください。

RJ-45 モジュラージャック

ネットワークケーブルを接続するコネクターです。使用するネットワークケーブルにつ いては「2.2.1 本製品とネットワークケーブルとの接続」をご覧ください。

PCIバスコネクター

本製品とコンピュータのインタフェースとなるコネクターです。この部分は素手で触ら ないようにしてください。

ROM ソケット

本製品は ROM ソケットを実装しておりますが、<u>ネットワークブート ROM 機能には、</u> 対応しておりません。

#### 1.3.2 動作表示 LED

本製品には動作状態を表示する3個のLED(ランプ)が装備されています。各LEDの名称と働きは以下の通りです。



図 1.3.2-1 動作表示 LED

(上から)

Link/Act(緑)

本製品とハブ(またはスイッチ)の間でリンクが成立すると点灯し、パケットを送受信すると点滅します。

100M(緑)

100BASE-TX でリンクが成立すると点灯します。

Full(緑)

Full duplexモード(全二重通信)のときに点灯します。

## 1.4 ドライバーディスク

本製品には、下記のドライバーディスクが付属しています。

• AT互換機 /NEC PC98-NX 用



## 2 ハードウェアの設定

本製品をコンピュータに取り付け、イーサネットに接続するまでの手順を説明します。 この手 順を実行することにより、ネットワーク環境を提供するドライバーソフトウェアをインストール する準備が熱います。

### 2.1 コンピュータへの取り付け・取り外し

以下に示す手順に従い、本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けてください。

コンピュータ本体のカバーの取り外し・アダプターの取り付けの詳細は、ご使用になるコン ピュータのマニュアルをご覧ください。

### 2.1.1 コンピュータへの取り付け

- コンピュータ上で動作しているソフトウェアを全て終了し、本体の電源をオフに してください。
- (2) 必ずコンピュータの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

コンピュータの拡張スロットに本製品を実装する作業は、必ずコンピュータの電源をオフに し、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。電源をオンにしたままこの作 業を行うとコンピュータや本製品の故障の原因となることがあます。

- (3) コンピュータの本体カバーを外してください。
- (4) スロットカバーを固定しているねじを外し、スロットカバーを外してください。
- (5) PCI バス用の空きスロットを確認します。PCI バススロットの位置は、お使いのコンピュータのマニュアルを参照してください。
- (6) 本製品を拡張スロット (PCI バス用)にしっかり奥まで挿し込んでください。



(7) (4) で外したねじを使用して、本製品を固定してください。このねじは必ず取り付けてください。

(8) コンピュータの本体カバーを取り付けてください。
 ネットワーク接続に必要なハードウェア設定(DMA、IRQ、I/O アドレスなど)は、
 本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けただけで自動的に行われます。

### 2.1.2 コンピュータからの取り外し

- (1) コンピュータへの取り付け手順の(1)~(3)と同様に、コンピュータの本体カ バーを外します。
- (2) 本製品を固定しているねじを外します。
- (3) 本製品をゆっくり引き抜きます。引き抜く時は左右に振らずに真っすぐ引き抜い てください。

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れが ありますので、PCI バスコネクターの接点部分、部品などに素手で触れないで ください。

- (4) スロットカバーを元どおりに取り付けてください。
- (5) コンピュータの本体カバーを取り付けてください。

### 2.2 イーサネットへの接続

次 に、本製 品をイーサネットに接続します。 この作業 はネットワーク環境を提供するソフト ウェアパッケージを<u>インストールする前に行います。</u>

2.2.1 本製品とネットワークケーブルとの接続



稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落 雷により、感電する恐れがあります。

 (1) ご使用の環境に合ったネットワークケーブル(ツイストペアケーブル)を用意し ます。詳細は以下をご覧ください。

100BASE-TX用 必ずカテゴリー 5 のケーブルをご使用ください。カテゴリー 5 以外のケーブルを使用し た場合、「リンクできない」、「通信でエラーが発生する」、「通信できない」などの障害 が発生します。ツイストペアケーブルのカテゴリーは、外見では識別できないので、何種 類ものカテゴリーのケーブルを混在して使用している場合は特にご注意ください。

10BASE-T用 カテゴリー 5、4、3のケーブルを使用することができます。

- (2) ネットワークケーブルの一方の端に付いたモジュラーブラグを本製品の RJ-45 モジュ ラージャックに、カチッと音がするまで挿し込んでください(両端のプラグのどちらでも構いません)。
- (3) ネットワークケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
- (4) ネットワークケーブルのもう一端のモジュラーブラグをハブのコネクター(UTP) に挿し込んでください。手順は、上記(2)と同様です。

ネットワークケーブルの外し方

ア UTP ケーブルの RJ-45 プラグは、プラグの爪を指で押されながら手前に引くと、抜くことができます。

#### 2.2.2 リンクの確認

最後に、ハブ(またはスイッチ)とコンピュータの両方の電源をオンにし、本製品のLink LED とハブのLINK OK LEDの両方が点灯することを確認します。点灯が確認できれば、ネット ワークへの接続は正常に完了しています。



どちらか一方しか点灯していない、または両方が消灯している場合は本製品とハブは正し くリンクしていません。その場合はご使用のネットワークケーブルがしっかり接続されてい ない、または断線している。あるいは適切なものを使用していないなどの原因が考えられま す。ケーブル類の接続をし直す、ケーブル類を交換してみる、ハブのポートを入れ替えてみ るなどの対策を行ってみてください。

## 3 Windows98

本製品のドライバーを Windows98 (Windows98 Second Edition を含む)上にインストー ルする手順を説明します。

### 3.1 ドライバーのインストール

### 3.1.1 用意するもの

- FEther PCI-TXL本体・UTP ケーブルなど
- コンピュータ(Windows98インストール済み)
- FEther PCI-TXLドライバーディスク(本製品に付属)

 Windows98の CD-ROM プリインストール版 Windows98 をご使用の場合は必要なファイルが予めハードディス クにコピーされていますので CD-ROM は必要ありません。ただし、一度 OS を削除し、 再インストールしている場合は必要です。

 Windows98がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、 すなわちブリインストール版である場合、Windows98のバッグアップ CD-ROM (またはリ カバリー CD-ROM)が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクに Windows98のバック アップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バッグアップ手順は、ご 使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

### 3.1.2 新規インストール

本製品のドライバーを Windows98 に新規インストールする手順を説明します。ここでは、今 までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初め て本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します。

- (1) 本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けた状態で、コンピュータの電源 をオンにし、Windows98 を起動してください。
- (2) Windows98 は本製品を自動的に検出し、次のダイアログを表示します。「次へ」 をクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィ	ザード
	次の新しいドライバを検索しています: POI Ethernet Controller デバイスドライバは、ハードウェア デバイスが動作するために必要なソ フトウェアです。
	〈戻る(団) 次へ入し、 キャンセル

図 3.1.2-1 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の起動

(3)「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」をク リックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザード		
	検索方法を選択してください。	
	⊙ 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)	
	○ 特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する	
<b>*</b>		
<u> </u>		
	〈 戻る(B) 次へ〉 ト キャンセル	

図 3.1.2-2 検索方法の選択

(4) 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「検索場所の指定」を選択して、「A:¥windows.98」を入力し、「次へ」をクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィ	ザード
	新しいドライ/ワミュ/レードドライブのドライバ データベースと、次の選択 した場所が少様素でれます。 様素を開始するには、したべしをジックし でくたてい。 □ コロッピーディスクドライブ(2) □ OD-ROM ドライブ(2) □ Microsoft Windows Update (20) ■ 検索場所の地定(2) ▲WINDOWS 38 ● 駅(6).
	〈戻る(B) (ホヘン) キャンセル

図 3.1.2-3 検索場所の指定

(5) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「A:¥WINDOWS.98¥NETCOKK.INF」 となっていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィ	f-k
	次のデバイス用のドライバ ファイルを検索します。:
	corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter
	このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました。別 のドライバを選択するには、「戻る」をクリックしてください。「たへ」 をクリ ックすると統行します。
😤 😞 -	ドライバのある場所:
	A #WINDOWS.98#NETCOKKINF
↓ ◆	
	( = z / 0) (
	KOU KOU AND

図 3.1.2-4 ドライバーファイルの検索

(6) ここで、本製品のドライバーディスクが要求された場合、「OK」ボタンをクリックし、本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「A:¥windows.98」と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。



(7) 必要な Windows98 ファイルのコピーが始まります。次のようなダイアログが表示される場合、Windows98 のCD-ROM をCD-ROM ドライブに挿入し、「OK」をクリックし、「ファイルのコピー元」に「D:¥win98」を入力してください。

ディスクの	荐入 🛛 🖂
8	'Windows 98 CD-ROM' ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。
	OK V

図 3.1.2-5 Windows98 CD-ROM の要求

ファイルのコピー	×
Windows 88 CD-ROM 上のファイル choossusr.dll が見つかりませんでし た。 Windows 88 CD-ROM を選択したドライブ に入れて、[OK] をクリックしてくださ	ー OK キャンセル
6 lo	スキップ( <u>§</u> )
ファイルのコピー元( <u>C</u> ): D¥WIN98 ▼	詳細(0)

図 3.1.2-6 Windows 98 関連ファイルの所在の指定

ご使用のコンピュータがプリインストール版である場合、「ファイルのコピー元」に 「C:¥windows¥options¥cabs」を入力してください。

(8) 「完了」ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザード		
	corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter	
	新しいハードウェア デバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。	
8		
	〈 戻る 図 荒了 ト・ キャンセル	

図 3.1.2-7 完了

(9) フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを抜き、「はい」をクリックし、コンピュータを再起動してください。

システム語	定の変更 🛛 🛛
?	新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。 今すぐ再起動しますか?

図 3.1.2-8 再起動

(10) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「3.2 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。DHCP サーバーを使用していなければ、「いいえ」をクリックしてください。DHCPサー バーを使用している場合(例えば、ケーブルテレビを使用したインターネオ接続等)は 「はい」をクリックしてください。LAN 環境でTCP/IPをご使用になる場合は、DHCPの 設定に関してシステム管理者にご相談ください。

St DHCP	クライア	ント	×
⚠	DHCI いる可 すか?	> サーバーにアクセスできませんでした。 ローカル ネットワークは接続さ≀ 能性があります。 ネットワークの設定に関する詳しいメッセージを表示	กุร เส
ন হ ব	2-0		

## 3.2 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定 を行います。

- 3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認
  - (1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。



(2)「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば「ネットワークアダブタ」の下に、「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」が表示されます。

<b>システムのブロバティ ?</b> × 今時1 デバイス マネージャ ) ードウェア ブロフライル 」パフォーマック 】
<ul> <li>● 種類肌に表示(T)</li> <li>○ 接続肌に表示(C)</li> </ul>
ブロパティ(B) 更新(E) 削除(E) ED刷( <u>())</u>
OK         キャンセル

図 3.2.1-2 デバイスマネージャ

本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが 「ネットワークアダブタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある 場合は インストールに失敗しています。詳しくは「3.6ドライバーのトラブル」をご覧く ださい。

(3)「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」を選択(反転表示)し、「プロパティ」 「全般」タブと進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作し ています。」と表示されていることをご確認ください。

corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapterのプロパティ	? ×
全般 ドライバ リソース	
corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter	
デバイスの種類: ネットワーク アダプタ 製造元: corega K.K. ハードウェアのバージョン・ 066	
ーデバイスの状態 このデバイスは正常に動作しています。	
18	
<ul> <li>□ このハードウェア ブロファイルで使用する(E)</li> </ul>	
OK \$*>	セル

図 3.2.1-3 デバイスの状態

(4) 本製品が使用する I/Oペースアドレス、インタラプト(IRQ)などは、Windows98
 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapterのプロパティ	? ×
全般 ドライ、リソース	
corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter	
☑ 自動設定を使う(1)	
基にする設定(B) 基本設定 0000	4
リソースの種類 設定	
またの要求 10 メモリの範囲 FFBEBC00 - FFBEBCFF レクの範囲 FC00 - FCFF	
設定の変更 (2)	
競合するデバイス:	
融合はありません。	*
OK 3	キャンセル

図 3.2.1-4 リソースの確認

### 3.2.2 ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライア ントなどの設定を行います。インターネットへのアクセスを行うためには(WWW プラウザー などをご使用になるためには)、TCP/IP プロトコルが必須です。ネットワーク接続の設定に 関しては「7ネットワークの設定」(p.85)」を参照してください。設定に関する詳細は お 客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。

必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」をクリックしてください。再起 動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。

ットワー ネットワ	ク 一クの設定 識別情報 アクセスの制御	?
現在	のネットワーク コンボーネント(W): Microsoft ネットワーク クライアント corega F Ether PCI-TXL Ethernet Adapter TCP/IP	
	<b>追加(4)</b>	
優先 Mic	始にログオンするネットワーク(12): rosoft ネットワーク クライアント	I
	ファイルとプリンタの共有(E)	]
	OK ++v\/t1	 

図 3.2.2-1 ネットワークの設定

### 3.2.3 ドライバーの設定

ここでは、本製品のネットワーク通信モードに関する設定を行います。

(1) 図 3.2.2-1で「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」 「プロパティ」 「詳細設定」タブと進み、ネットワーク通信モードの設定を行います。「値(V)」 リストからご使用の環境に合ったものを選択します。詳細はシステム管理者にご 確認ください。

corega FEther PCI-TXL Etherne	t Adapterのプロパティ 🛛 🛛 🗙
「ドライバの種類」バイン(詳細設定	
左の一覧から変更したい設定をクリッ	ウし、右に新しい値を指定してください。
7D/7-(Q): Concestion Types DIMA Earst Length Flow Control	(≣⊘) Auto-Negotistion 100Base=Tx Full Duplex 108Base=T (Full Duplex 108Base=T (Full Duplex 108Base=T (Full Duplex
	OK キャンセル

図 3.2.3-1 ネットワークメディアの設定

各項目の意味は以下の通りです。

**Connection Type** 

- 100Base-TX
   100MbpsのHalf duplex(半二重)モードに設定します。
- 100Base-TX Full duplex
   100MbpsのFull duplex(全二重)モードに設定します。
- 10Base-T (Twist Pair)
   10MbpsのHalf duplex(半二重)モードに設定します。
- 10Base-T Full Duplex
   10MbpsのFull duplex (全二重)モードに設定します。
- Auto-Negotiation (デフォルト)
   Auto-negotiation を有効(Enable)に設定します。この項目を選択した場合、接続先 機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。

接続先機器がAuto-negotiation をサポートしている場合 可能な最高の速度(100/10 Mbps)およびモード(Full/Half duplex)となります。

接続先機器がAuto-negotiation をサポートしていない場合

接続先機器 (ハブなど)が Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合にこの 「Auto-Negotiation」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度 (100/10 Mbps)のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplex モードとなります。した がって、接続先機器が 100Mbps の Full duplex モードをサポートしていても Autonegotiation 機能をサポートしていない場合に最高速度(100Mbps Full duplex)を得 るためには、前述の「100Base-TX Full duplex」を選択する必要がありますのでご注 意ください。

接続先機器がHalf duplex(半二重)のみに対応している場合、本製品をFull duplex (全二重)に設定すると、ネットワーク障害の原因となりますので避けてください。この 場合は 接続先機器と同様に Half duplex に固定するか、Auto-Negotiationを選択し てください。

DMA Burst Length

デフォルトは「16 DWORDS」です。この値は、デフォルト値のままお使い頂くことを推 奨いたします。

Flow Control

デフォルトは「Disabled (無効)」です。Flow Control 機能を使用する場合は、この値 を「Enabled (有効)」に設定してください。特別、Flow Control を必要としない場 合は、デフォルトの「Disabled (無効)」のままお使い頂くことを推奨いたします。

## 3.3 ドライバーの更新

ドライバーの更新は、本製品用の最新のドライバーを入手したときに実行します。

- (1) Windows98のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに入れてください。 (プリインストール版 Windows98をご使用の場合は必要なファイルが予めハード ディスクにコピーされていますので CD-ROM は必要ありません。ただし、一度 OS を削除し、再インストールしている場合は必要です。)
- (2)「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」タブと進みます。 「ネットワークアダブタ」をダブルクリックし、その下に表示される「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリッ クしてください(図 3.2.1-2)。
- (3) 次のダイアログで「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリック してください。

corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapterのプロパティ	? ×
全般 ドライバリソース	
corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter	
製造元: corega K.K.	
日付: 5-5-2000	
このデバイフ用に読み込まれているドライバ・ファイルの詳細を表示するに は、ドライハ・ファイルの詳細しをクリックしてください。このデバイス特のドラ イバ・ファイルを更新するには、ドライバの更新しをクリックしてください。	,
ドライバ ファイルの詳細(2)	D
0K ++>>	セル

図 3.3-1「ドライバの更新」ボタン

(4) 「デバイスドライバの更新ウィザード」が起動されますので、「次へ」をクリック してください。

デバイス ドライバの更新ウィ	ザード
	)次のデバイスの更新されたドライバを検索します: corega FEther PGI-TXL Ethernet Adapter
	デバイス ドライバは、ハードウェア デバイスが動作するために必要なソ フトウェアです。
	デバイスドライバを新しいパージョンにアップグレードすると、ハードウェ アデバイスの動作が向上したり、機能が追加されます。
<b>S</b>	
	〈戻る(日) 次へ〉、 キャンセル

図 3.3-2 更新されたドライバーの検索

(5)「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバ を選択する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

デバイス ドライバの更新ウィザ <sup>、</sup>	-k
	検索方法を選択してください。
	○ 現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索す る (単型)
	● 特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インス
	トールするドライバを選択する
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
Ť.	
	〈戻る(日) 次へ〉 キャンセル

図 3.3-3 検索方法の選択

(6) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」をクリックします。

デバイスの選択
ネットワーク アダブタ: お使いのハードウェアを 互換性のある モデルが 要示されています。 セットアックするモデルをクリックして、[10] をク リックしてください。 モデルが一覧にない場合は、「すべてのデバイスを 素示」を変形してくされい。ロデバイスのインストール ディスクをあ 持ちの約41よ、「ディスク使用 をクリックしてください。
モデル(L):
FØ coress FEther PCI-TDL Ethernet Adapter
<ul> <li>○ 互換性のあるデバイスを表示(£)</li> <li>○ すべてのデバイスを表示(â)</li> <li>○ すべてのデバイスを表示(â)</li> <li>○K キャンセル</li> </ul>

図 3.3-4 ドライバーインストールにはディスクを使用

 (7) 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、次の ダイアログで「A:¥windows.98」と入力して、「OK」をクリックしてください。

ディスクからインストール	×
デルゴスの製造元が配布するインストー	 キャンセル
ル ティスクを指定したドライフに入れ て、[OK] をクリックしてください。	参照(B)
P ホコッイ + の コ ビー元:     A:¥WINDOWS.98     ▼	

図 3.3-5 ドライバーの所在の指定

(8) Windows98 によってドライバーディスクが検索され、次のダイアログが表示され ます。「OK」をクリックしてください。ダイアログが閉じ、図 3.3-4 の画面に戻 りますが、画面が自動的に閉じて、手順(9)の図 3.3-7 の画面が表示されるまで、 そのまましばらくお待ちください。(1 ~ 2分)

デバイスの選択	X
ネットワーク アダブタ: お使いのハー 表示されています。 セットアップする: リックしてください。 モデルが一覧に 表示」を離脱してください。この一覧に ファイルだけが表示されています。	ドウェアと互換性のあるモデルが モデルをクリックして、[0K] をク ない場合は、[すべてのデバイスを はセットアップ ディスクにある
モデル( <u>L</u> ):	
□₽ corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter	
● 互換性のあるデバイスを表示(C)	
○ すべてのデバイスを表示( <u>A</u> )	ディスク使用(世)
	<b>キ</b> ャンセル

図 3.3-6 選択するドライバー

(9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が A:¥WINDOWS.98¥NETCOKK.INF」 となっていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。

デバイス ドライバの更新ウィザ、	-F
	F 次のデドイス用のドライバ ファイルを検索します。: coreas FEther PCI-TOL Ethemet Adapter このデドイク用つ業用したドライバをなノントールする準備的できまし、 た3的のトクバを被用する場合には、原る1 をクリックしてくたさく、した へ1をつりっすると統行します。 ドライバのある場所: F3イバのある場所:
	< 戻る(B) (次へ) キャンセル

図 3.3-7 ドライバーファイルの検索

(10) ここで、本製品のドライバーディスクが要求された場合、「OK」ボタンをクリックし、本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「A:¥windows.98」と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。



重要:場合によっては、「COLPCIX5.sys が見つからないので Windows98 の CD-ROM を入れください」というようなダイアログが表示されることがあります。「COLPCIX5.sys」 はドライバーディスクに収められているファイルです。このような場合は、「ファイルのコピー 元」に「A:¥windows.98」を入力してください。

(11) また、次のようなダイアログが表示される場合、Windows98の CD-ROM が CD-ROM ドライブに挿入されていることを確認し、「ファイルのコピー元」に「D:¥win98」を入力してください。

l	ディスクの挿入		
	8	Windows 98 CD-ROM ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。	
		OK K	

図 3.3-8 Windows98 CD-ROM の要求

ファイルのコピー	×
Windows 88 CD-ROM 上のファイル dhopesve.dll が見つかりませんでし た。 Windows 98 CD-ROM を選択したドライブ に入れて、[OK] をクリックしてくださ	キャンセル
6.0	スキップ( <u>§</u> )
ファイルのコピー元( <u>C</u> ):	詳細(0)
D:¥WIN98	

図 3.3-9 Windows 98 関連ファイルの所在の指定

ご使用のコンピュータがプリインストール版である場合、「ファイルのコピー元」に 「C:¥windows¥options¥cabs」を入力してください

(12)「完了」をクリックしてください。

デバイス ドライバの更新ウィザ	-F
	corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter
	ハードウェア デバイス用に選択したドライバがインストールされました。
8. st	
•	
	< 戻る(B) (二先了) キャンセル

図 3.3-10 完了

(13) フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」をク リックしてください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動 します。

システム設定の変更 ×		
?	新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。 今すぐ再起動しますか?	
	CUIZ CUIZ (W	

図 3.3-11 再起動

(14)「3.2 インストールの確認とアダプターの設定」を実行してください。

## 3.4 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライ バーのインストールに失敗した場合も、この手順にならい、間違ってインストールされたド ライバーをまず削除してから、再びインストール作業を行います。

(1)「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」タブと進み、 「ネットワークアダプタ」の下から項目「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」を選択し、「削除(E)」をクリックしてください。



図 3.4-1 ドライバーの削除

(2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。

デバイス剤	除の暗認 ? ×
田間	corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter
警告:50	カデバイスをシステムから削除しようとしています。
	OK ++>+=>

図 3.4-2 デバイス削除の確認

(3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

システム設定の変更 🛛 🕅		
?	ハードウェアの削除を完了するには、コンピュータを再起動してください。 今すぐ再起動しますか?	
	with and and	
-		

図 3.4-3 再起動の確認

(4)「ネットワークアダプタ」の下の本製品のアイコンが消えていることを確認し、
 「OK」ボタンをクリックしてください。

本製品を使用しない場合は、Windows98を「終了」し、コンピュータの電源をオフにして、1、拡張スロッナから本製品を取りかしてください。次回のWindows98起動時から、本製品のトライバーがインストールされていない状態とないます。

(5) 以上でドライバーの削除は終了です。ドライバーの再インストールを行う場合は、 コンピュータを再起動してください。

## 3.5 **ドライバーの再インストール**

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「3.4 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。
- (2)「3.1ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

### 3.6 ドライバーのトラブル

ここではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と その対処法について説 明します。

### 3.6.1 デバイスマネージャで正常に認識されない

「3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

「ネットワークアダプタ」の項目がない

「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている



• COLPCIX5.sys の要求において「キャンセル」をクリックした。

アイコンに「!」「?」マークがある

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行 してください。

<sup>1.</sup> この時、ご使用コンピュータの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- (1) 不正にインストールされた「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「3.4 ドライバーの削除」の手順(2)以降を実行してください。
- (3)「3.1 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

### 3.6.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く

アイコンに「×」マークがある場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下 の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1)「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」を選択(反転表示)し、「プロパティ」 ボタンをクリックし、「全般」タブを表示します(図 3.2.1-3)。
- (2)「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」の チェック「✓」を外してください。

### 3.6.3 違うドライバーがインストールされた

ドライバーインストール時の検索場所の指定(3.1.2 の手順(4))で本製品に付属のフロッ ビーディスクではなく、CD-ROM を指定してしまった場合、不適切なドライバーが組み込まれ てしまいます。

不適切なドライバーがインストールされたときは、次の手順で正しいドライバーをインストー ルし直します。

- (1)「3.4 ドライバーの削除」の手順にしたがい不適切なドライバーを削除します。この場合、削除するネットワークアダプタは誤ってインストールされたドライバーです。
- (2)「3.1 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

### 3.6.4 リソース値重複の回避

前述の 手順にしたがってドライバーの削除 および再 インストール 作業を行っても、なおアイ コンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の 拡張アダプターとリソースの値が重複して いる可能性があります。 特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値をWindows98 に予め登録(「予約」と呼びます)し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないようにしておくと、値の重複を回避できます。

コンピュータ機種によっては、「BIOS」に組み込まれている PCI やISA の設定ユーティ リティを使用して、リソースの重複を回避するものがあります。詳細は、ご使用のコン ピュータのマニュアルをご覧ください。

- Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト (IRQ), I/O ペースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))を調 べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧になるか、また は、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」タブと進みます。
- (3)「デバイスマネージャ」タブで「コンピュータ」を選択し、「プロパティ」「リ ソースの予約」タブと進みます。
- (4) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがっ て予約するリソースの値を登録してください。

### 3.6.5 ご使用コンピュータの確認

ご使用コンピュータの OS が Windows98 のプリインストールタイプでない場合、 (Windows3.1/95 からアップグレードされた場合など)は、ご使用のコンピュータ本体が Windows98 の plug & play 機能に対応していない可能性があります。「3.6ドライバーのト ラブル」や「8 ネットワークのトラブル」(p.97)」の手順で操作しても正常に動作しない場 合は、ご使用コンピュータメーカーにお問い合せください。

## 4 Windows95

本製品のドライバーをWindows95上にインストールする手順を説明します。

ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあます。

## 4.1 ドライバーのインストール

### 4.1.1 用意するもの

- FEther PCI-TXL 本体・UTP ケーブルなど
- コンピュータ (Windows95 インストール済み)
- FEther PCI-TXL ドライバーディスク(本製品に付属)
- Windows95のCD-ROMまたはフロッピーディスク プリインストール版 Windows95をご使用の場合は必要なファイルが予めハードディス クにコピーされていますのでマスターディスクは必要ありません。ただし、一度 OS を削 除し、再インストールしている場合は必要です。

 Windows95がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、 すなわちプリインストール版である場合、Windows95のバッグアップ CD-ROM が付属し ているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安 全のために必ずフロッピーディスクに Windows95のバックアップを取った後でドライバーの インストールを開始してくたさい。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアル をご覧ください。

### 4.1.2 Windows95のバージョンの確認

Windows95 には、Version950、VersionA、VersionB、VersionCの4種類のバージョン があります。各バージョンによって、本製品のドライバー・インストール時に表示されるメッ セージが異なります。まず、ご使用のWindows95のバージョンを確認しでください。

- (1) コンピュータの電源をオンにし、Windows 95 を起動してください。
- (2) 「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックしてください。
- (3)「システムのプロパティ」ダイアログが現れます。「情報」タブをクリックしてく ださい。

Version950

「システム:」の番号が「4.00.950」であれば Version950 です。

<b>システムのプロ</b> パティ		? ×
「播戦」デバイスマネージャ」ハートウェア環境】	パフォーマンス	
	э <b>л</b> <del>т</del> а:	
	Microsoft Windows 95	
	48	
図 4.1.2-1 Version950		

VersionA

「システム:」の番号が「4.00.950a」であれば VersionAです。

<b>シ</b> ステムのプロパティ		? ×
「借職」 デバイス マネージャ ハートウェア環境	パフォーマンス	
	УЛ7Б↓: Microsoft Windows 95 4.00.950a	
図 4.1.2-2 VersionA		

「システム: 」の番号が「4.00.950 B」であれば VersionB、「4.00.950 C」であれば VersionC です。

<b>システムのプロパティ</b>		? ×
【「「「「「「」」」 デバイス マネージャ 「ハート・ウェア環境 」	パフォーマンス	
	9 <b>.</b> 774 :	
	Microsoft Windows 95	
	4.00.000 0	
2 4.1.2-3 VersionB/C		

- 4.1.3 新規インストール
  - (1) 本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けた状態で、コンピュータの電源 をオンにし、Windows95 を起動してください。
  - (2) Windows95 は、本製品を自動的に検出し、「デバイスドライバウィザード」が起動します。<sup>1</sup>「次へ」をクリックしてください。

VersionB、VersionC

<sup>1.</sup> Version950 または VersionA の場合は、表示されるダイアログが異なります。



図 4.1.3-1 デバイスドライバウィザードの起動

(3) 次の画面がを表示されますので、「場所の指定…」をクリックしてください。

デバイス ドライバ ウィザート	
	このデバイス用のドライバが見つかりませんでした。 ドライバタニアでクスールムない場合は、使用し 参切・グルます。自 分でリアパク教育なする場合は、提供の施用 参切・グルます。自 動検索を始めるはよ、展引 を押してたさい。
<b>~</b>	<u>増</u> 備の描定(Q). (戻ふ(g) 充了 <del>1</del> +/26

図 4.1.3-2 場所の指定

 (4) 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、 「A:¥windows.95」と入力し「OK」をクリックしてください。
場所の指定 ×
使用するドライハがあるフォルダ名を入力してください。[参照]をワリックするとフォルダの検索ができます。
場所(j) A+WINDOWS.95
OK ++>E&

図 4.1.3-3 ドライバーファイルの所在

(5) 次のダイアログで、ドライバーの名称が「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」となっていることを確認し、「完了」をクリックしてください。

デバイス ドライバ ウィザード	
	このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。
	corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter
	このドライバを使用する場合は、[完了] を押してください。 別の ドライバを検索したい場合は、[場所の指定] を押してください。
	Windows195 場所の指定(2)
	〈戻3(B) <u>売了</u> キャンセル

図 4.1.3-4 「デバイスドライバウィザード」の完了

(6) 次のダイアログが表示される場合は、本製品のドライパーディスクをフロッピー ディスクドライブに挿入し、「OK」をクリックしてください。

ディスクの	椿入 🛛 🔀
8	'corega FEther PCI-TXL Adapter Drivers Diskette' ういゆの付いたディスがを挿入して [OK] を押してください。
	OK

図 4.1.3-5 ドライバーディスクの要求

(7) 続いて「ファイルのコピー」ダイアログが表示されますので、「ファイルのコピー 元」に「A:¥windows.95」と入力し「OK」をクリックしてください。



図 4.1.3-6 ファイルのコピー元の指定 (sys ファイル)

- ご使用のコンピュータに初めてLANアダブターを介ンストールする場合はここでコンピュータをネットワーク上で識別するための情報(コンピュータ名、ワークグルーブ名、コンピュータの説明)の入力を促すダイアログが表示されます。詳細はシステム管理者にご確認ください。なお、このダイアログの内容をインストール終了後に変更するには、「ネットワーク」、(コントロールパネル)をダブルクリックし、「ユーザー情報」ダブを選択してください。
- (8) 必要な Windows95 ファイルのコピーが始まります。Windows95 のマスターディ スク が要求された場合は、「OK」をクリックし、ご使用の形態に応じて以下のようにパスを入力します。

ディスクの	荐入 🛛 🖂
8	Windows 95 CD-ROM ういんの付いたディスクを挿入して [OK] を押してください。
	<u>ок</u>

図 4.1.3-7 Windows95 マスターディスクの要求

プリインストール版 Windows 95 の場合

この場合は Windows95 ファイルが既にハードディスクにコピーされています。画面上で はディスクを入れるように要求されますが、そのまま「OK」をクリックしてダイアログを 閉じ、「ファイルのコピー元」に「C:¥windows¥options¥cabs」を指定してください。

ファイルの	1t*-	×
	Windows 95 CD-ROM 上のファイル netapidll が見 つかりませんでした。	ОК
	Windows 95 CD-ROM を選択したドライフ1こ入れ て、[OK] を押してください。	キャンセル
		スキッフ*(S)
	ファイルのユビー元(こ):	詳細( <u>D</u> )
	C:#windows¥options¥cabs 🗸	

図 4.1.3-8 パスの指定(プリインストール版)

機種によっては ¥windows ¥options ¥cabsと異なる場所に保存されていることも あります。その場合はコンピュータのマニュアルをご覧になるか、検索コマ ンドにより拡張子「cab」のファイルが存在するディレクトリを探し、その ディレクトリパスを指定してください。

CD-ROM の場合

CD-ROM をドライブに挿入し、「ファイルのコピー元」に「D:¥win95」を入力してく ださい

フロッピーディスクの場合

指示された 番号の ディスクをフロッピー ディスクドライブに入れ、「ファイルのコピー 元」で「A:¥」を入力してください。



(9)「システム設定の変更」ダイアログが表示されます。フロッピーディスクが入って いる場合は取り出し、「再起動しますか?」という問いに対して、「はい」をクリッ クし、コンピュータを再起動します。

システム設計	定の変更 🛛 🛛
?	新ししいートウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。 今すぐ再起動しますか?
	ULIZON ULIZON

図 4.1.3-9 システム設定の変更



ご使用のコンピュータに既に他のネットワークアダプターのドライバー(ダイアルアップアダプ タ等)がインストールされている場合、このダイアログは表示されません。この場合も必ず 再起動して本製品のドライバーを有効化してください。

(10) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「4.2 インストールの確 認とアダプターの設定」にお進みください。



インストール後の再起動時に、以下のようなダイアログが表示されることがあります。その 場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN 環境で TCP/IP をご使用になって 、いる場合は DHCPの設定に関してシステム管理者にご相談ください。



#### 図 4.1.3-10 DHCP メッセージ

## 4.2 インストールの確認とアダプターの設定

再起動したら、はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さら に必要な設定を行います。

#### 4.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認

(1)「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デパイスマネージャ」 タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば、「ネット ワークアダブタ」の下に「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」が表示さ れます。

ን <b>አ</b> ታፋወን ግስ ት	×
情報(デバイスマネージャ)、トトウェア環境) ハウォーマンス	
● 種類則に表示① ○ 接続りに表示②	
U25-35           U264 + 5 <sup>-1</sup> / <sub>2</sub> U264 + 5 <sup>-1</sup> / <sub>2</sub> U274 + 5 <sup>-1</sup> / <sub>2</sub>	
711/57(E) 更新(E) 前隊(E) 印刷(M)	
ОК <b>+</b> еУъл	]

図 4.2.1-1 デバイスマネージャ

Windows95 Version 950/A では「OK」は「閉じる」となります。

これらのアイコンに「×」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが 「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある 場合は、インストールに失敗しています。詳しくは「4.5ドライバーのトラブル」をご覧ください。

(2) 次に、デバイスマネージャで「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」(図 4.2.1-1)を選択(反転表示)し、「プロパティ」をクリックします。「情報」タブ の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されて いることをご確認ください。

corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapterのプロパティ	? ×
「情報」リソース	_
corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter	
デバイスの種類: ネットワークアタフジョ	
製造元: corega K.K. ハードウェアのバージョン: 066	
「デハシイスの北北	1
< このデバイスは正常に動作しています。 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	
- デバイスの使用	1
このアパイスを使用する設定のチェックホックスに印を付けてくたさい。	
☑ Criginal Configuration (使用件)	
	1
OK         キャンセル	

図 4.2.1-2 デバイスの状態 (Version 950/A)

corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapterのブロバティ	? ×
情報 ドライハン リソース	
corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter	
デバイスの種類: ネットワークアタフプタ	
製造元: corega K.K.	
ハードウェアのハージョン: 066	
デバイスの対象	
< このデバイスは正常に動作しています。 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	
4	
「デバイスの使用	
□ このハートウェア環境で使用不可にする	
▼ すべてのハートウェア環境で使用する	
ОК	キャンセル

図 4.2.1-3 デバイスの状態 (Version B/C)



corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapterのプロバ	74 ?	×
「情報」トライバーリソース		
corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter		
製造元: 情報なし		
日付: 5-5-2000		
パージョン: 情報なし		
このデバイスには、ドライバ ファイルが必要でないか、また ていません。 💦	しは読み込まれ	
ドライバ ファイルの詳細型	ガバの更新(1)	
04		

図 4.2.1-4 「ドライバ」タブ (Version B/C)

(3) 本製品が使用する I/Oベースアドレス、インタラプト(IRQ)などは、Windows95 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認す ることができます(表示されるまで、時間がかかります)。

corega FEther PCI-	TXL Ethernet Adapterのブロバティ	? ×
情報トラクレリン	<b>X</b>	
corega F	Ether PCI-TXL Ethernet Adapter	
リソースの設定( <u>R</u> ):		
リソースの種類	設定	
IRQ	10	
「、モリの範囲	FFBEBC00 - FFBEBCFF	
1/0 ポート アドルス	FC00 - FCFF	
設定の登録名(B)	基本設定 0000	4
設定の変更に	)	
競合するデバイス:		
競合なし		<b>A</b>
-		4.3.54
	ŬŔ.	40/00

図 4.2.1-5 リソースの確認

#### 4.2.2 ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライア ントなどの設定を行います。インターネットへのアクセスを行うためには(WWW プラウザー などをご使用になるためには)、TCP/IP プロトコルが必須です。ネットワーク接続の設定に 関しては「7ネットワークの設定」(p.85)」を参照してください。設定に関する詳細はお 客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。

必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」をクリックしてください。 再起 動を促すダイアログが表示されます。 設定内容は、再起動後から有効となります。

🔜 Microsoft 🔜 NetWare	ネットワーク クライブ ネットワーク クライア	")ト ハト		
🗊 corega Fl 🍞 IPX/SPX	Ether PCI-TXL 互換プロトコル	Ethernet Ada	ipter	
🌮 NetBEUI				
追加公	Ŋ	前順除( <u>B</u> )		ን በለ ን ( <u>P</u> )
夏先的にログス	わする			
Microsoft ネ	ットワーク クライアント			1
ファイルとフ	リンタの共有(E)			

図 4.2.2-1 ネットワークの設定



4.2.3 ドライバーの設定

ここでは、本製品のネットワーク通信モードに関する設定を行います。

(1) 図 4.2.2-1で「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」「プロパティ」 「詳細設定」タブと進み、ネットワーク通信モードの設定を行います。「値(V)」 リストからご使用の環境に合ったものを選択します。詳細はシステム管理者にご 確認ください。

corega FEther PCI-TXL Etherne	et Adapterのプロバティ ?	х
ドライハの種類 ハイント 詳細設定		_
左の一覧から変更したい設定を い。	クリックし、右に新しい値を指定してくださ	
7 ኪ/7/Q): Connection Type DMA Burst Length Flow Control	(BU) Auto-Negotiation 100Base-Tx: Full Duplex 100Base-Tx: Full Duplex 100Base-T Full Duplex 100Base-T Full Duplex Auto-Targention	
	OK キャンセル	

図 4.2.3-1 ネットワークメディアの設定

各項目の意味は以下の通りです。

**Connection Type** 

- 100Base-TX
   100Mbpsの Half duplex (半二重)モードに設定します。
- 100Base-TX Full duplex
   100Mbps の Full duplex (全二重)モードに設定します。
- 10Base-T (Twist Pair)
   10Mbpsの Half duplex (半二重)モードに設定します。
- 10Base-T Full Duplex
   10Mbps の Full duplex (全二重)モードに設定します。
- Auto-Negotiation (デフォルト)
   Auto-negotiation を有効(Enable)に設定します。この項目を選択した場合、接続先 機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。

接続先機器がAuto-negotiation をサポートしている場合 可能な最高の速度(100/10 Mbps)およびモード(Full/Half duplex)となります。 接続先機器がAuto-negotiation をサポートしていない場合

接続先機器(ハブなど)がAuto-negotiation機能をサポートしていない場合にこの 「Auto-Negotiation」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度(100/10 Mbps)のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplexモードとなります。した がって、接続先機器が 100Mbps の Full duplexモードをサポートしていても Autonegotiation機能をサポートしていない場合に最高速度(100Mbps Full duplex)を得 るためには、前述の「100Base-TX Full duplex」を選択する必要がありますのでご注 意ください。

接続先機器が Half duplex(半二重)のみに対応している場合、本製品を Full duplex (全二重)に設定すると、ネットワーク障害の原因となりますので避けてください。この 場合は、接続先機器と同様に Half duplex に固定するか、Auto-Negotiationを選択し てください。

DMA Burst Length

デフォルトは「16 DWORDS」です。この値は、デフォルト値のままお使い頂くことを推 奨いたします。

Flow Control

デフォルトは「Disabled (無効)」です。Flow Control 機能を使用する場合は この値を 「Enabled (有効)」に設定してください。特別、Flow Control を必要としない場合は、デ フォルトの「Disabled (無効)」のままお使い頂くことを推奨いたします。

### 4.3 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。<u>ドライ バーのインストールに失敗した場合も</u>、この手順にならい、間違ってインストールされたド ライバーを削除してから、あらためてインストール作業を行います。(「4.5 ドライバーのトラ ブル」もご覧ください。)

ドライバーを削除する手順は以下の通りです。

(1)「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」タブと進み、 「ネットワークアダプタ」の下から項目「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」を選択し、「削除(E)」をクリックしてください。



図 4.3-1 ドライバーの削除

(2) 下のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。

デバイス剤	除の暗認 ?×
	corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter
警告:こ	のテッパイスをシステムから削除しようとしています。
	OK ++>tel

図 4.3-2 デバイス削除の確認

- (3) 本製品のアイコンが消えていることを確認し、「システムのプロパティ」の「OK」 (または「閉じる」)ボタンをクリックしてください。
- (4) 以上でドライバーの削除は終了です。ドライバーの再インストールを行う場合は、 コンピュータを再起動してください。

### 4.4 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

(1)「4.3 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。

(2)「4.1 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

### 4.5 ドライバーのトラブル

ここではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と その対処法について説 明します。

#### 4.5.1 デバイスマネージャで正常に認識されない

「4.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を 行った際に「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」 アイコンの表示が以下のように なっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

「ネットワークアダプタ」の項目がない

「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている

この場合、以下のような操作を行ったことが考えられます。 ・ドライバーインストールの作業中に行われる netapi.dliなどの Windows95 関 連のファイルのインストールをキャンセルしてしまった。

• 図 4.1.3-6( COLPCIX4.sys の要求 ) において「キャンセル」をクリックした。

アイコンに「!」「?」マークがある

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行 してください。

- (1) 不正にインストールされた「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「4.3 ドライバーの削除」の手順(2)以降を実行してください。
- (3)「4.1 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

#### 4.5.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く

アイコンに「×」マークがある場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1)「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」を選択(反転表示)し、「プロパティ」 ボタンをクリックし、「情報」タブを表示します(図 4.2.1-2,図 4.2.1-3)。
- (2) Version 950 またはAの場合、「Original Configuration」にチェック「ノ」を付け てください。

- デハシイマの使用
このデバイスを使用する設定のチェックホックスに印を付けてください。
☑[Original Configuration (使用中)]

図 4.5.2-1 デバイスの使用許可の設定 (Version 950/A)

(3) Version B またはC の場合、「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェック「✓」を外し、「すべてのハードウェア環境で使用する」にチェック「✓」を付けてください。

	//」 ートウェア環境 - ハッートウィ	€で使用不可に Z環境で使用す	する		
<b>A</b> 3.(1	_UJN=r-91	A WAR CITCHIN	<i>`</i> ə		

図 4.5.2-2 デバイスの使用許可の切り替え (Version B/C)

#### 4.5.3 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイ コンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複して いる可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値をWindows95 に予め登録(「予約」と呼びます)し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないようにしておくと、値の重複を回避できます。



 (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト (IRQ)、I/Oペースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))を調 べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。また は、メーカーにお問い合わせください。

- (2) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」タブと進みます。
- (3)「デバイスマネージャ」タブで「コンピュータ」を選択し、「プロパティ」「リ ソースの予約」タブと進みます。
- (4) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがっ て予約するリソースの値を登録してください。

#### 4.5.4 ご使用コンピュータの確認

ご使用コンピュータの OS が Windows95 のプリインストールタイプでない場合、 (Windows3.1 からアップグレードされた場合など)は、ご使用のコンピュータ本体が Windows95 の plug & play 機能に対応していない可能性があります。「4.5ドライバーのト ラブル」や「8 ネットワークのトラブル」(p.97)」の手順で操作しても正常に動作しない場 合は、ご使用コンピュータメーカーにお問い合せください。

# 5 Windows NT Ver. 4.0

本製品のドライバーを Windows NT Ver. 4.0 上にインストールする手順を説明します。

本書では、下記の条件を仮定したインストール例を示します。

- ネットワークアダブター用ドライバーを含むネットワーク環境は、全くインストール されておらずこれからインストールします。
- Windows NT Ver. 4.0 Workstation を使用し、Windows NT が要求する問い合わせ に対して、基本的にデフォルトで答えます。

# 5.1 インストール時のご注意

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。 各操作・設定の手順に ついてはWindows NT のマニュアル・ヘルプをご覧ください。



Windows NT のハードウェア互換性リスト(Windows NT パッケージに同梱されています) に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任に おいてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユー ザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



NEC PC98-NX にインストールされた Windows NT のもとで本製品をご使用になる場合、 NEC によって保証されていない インストール環境でのご使用は お客様の責任において 行ってください。それらの環境で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対 象外とさせていたたきますので予めご了承ください。



本取扱説明書に記載した内容は一例であり、お客様の使用するコンピュータやネットワー ク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。 予めご了承ください。



本製品のインストールを Windows NT のインストールと同時に行うことは避けてください。 必ず、Windows NT のインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってくだ さい。Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、Windows NT と本製品 のインストールを同時に行うと、Windows NT のインストール中に本製品が使用するハード ウェアリノースが他のデバイスと重複するあそれがあい、重複の回避に手間取ることがあ ります。

サービスパックについて

重要:WindowsNTのサービスバッグをインストールしているか確認してください。 「スタート」「プログラム」「管理ツール(共通)」「Windows NT診断プログラム」」を進むと、「バージョン」タブが表示されます。表示が「Service Pack 2」以上であればサービスバッグをインストールしていますので、ドライバーのインストール後、コンピュー 9を再起動する前に必ずサービスパックの再インストールをしてください。サービスパックを インストールせずにコンピュータを再起動すると、WindowsNT が起動できなくなることがあ リます。



図 5.1-1 サービスパックの確認

### 5.2 ドライバーのインストール

#### 5.2.1 用意するもの

- FEther PCI-TXLアダプター本体、UTP ケーブルなど
- コンピュータ (Windows NT 4.0 インストール済み)
- Windows NTの CD-ROM
- FEther PCI-TXLドライバーディスク(本製品に付属)
- Windows NT サービスパック(サービスパックをインストールしている場合のみ)

#### 5.2.2 新規インストール

 (1)「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」と進み、「ネットワーク」アイ コンをダブルクリックしてください。



(2) 下のダイアログが表示されます。「今すぐインストールしますか?」の問いに対して、「はい(Y)」をクリックしてください。<sup>1</sup>

ネットワーク	の構成
⚠	Windows NT ネットワーウカシインストールされていません。 今すぐインストールしますカン?
	TITION LIVEN

図 5.2.2-2 ネットワークのインストール開始

(3)「ネットワークセットアップウィザード」ダイアログが表示されます。「ネットワークに接続(W):」にチェックマークを付け、「次へ(N)」をクリックしてください。

ネットワーク セットアッフ・ウィザート	*
	このコピュータをやトワークに参加させる方法を指定してください。
	● ドルワークご接後(型) マレーントレート について アクタオたしまやパワークアタフタによって ネッパワークご接換します。
	< 戻る(型) 次へ( <u>W</u> ) キャンセル

図 5.2.2-3 ネットワークセットアップウィザードの起動

(4) 以下のダイアログが表示されたら、「一覧から選択(S)…」をクリックしてください。

 <sup>「</sup>Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない(D)」 を選択したとき、このダイアログが表示されます。このダイアログではなく「ネットワー ク」パネルが表示された場合は、既にネットワークに関する Windows NT ファイルがイ ンストールされています。この場合は「ネットワーク」パネルの「アダブタ」タブ 「追 加」と進むと、手順(5)の図 5.2.2-5 が表示され、本製品のみのインストールが始まり ます。

ネットワーク セットアッフ・ウィザ・ート・	
	【検索開始】をソリックするとそットワーシ アタブタの検索を開始します。 検索開始(1) ネットワーシ アタブウ(2): 
	〈 戻る(8)     次へ(1) 〉     キャンセル

図 5.2.2-4 ネットワークアダプタは一覧から選択

(5)「ネットワークアダプタの選択」ダイアログが表示されます。「ディスク使用(H) …」をクリックしてください。

ネットワーク ア	わちの選択 ? X
Ш <mark>Ш</mark>	ハートヴェアに達合するネットワーク アダン あをグリックして、[OK] をグリックしてください。 このコンボーネントのインストール ディスクがある場合は、「ディスク使用」 をグリックしてく ださい。
ネットワーク フ	タブ 第(N):
BB 3Com	3C508 ISA 16-bit Ethernet Adapter
B3Com	Etherlink II Adapter (also II/16 and II/16 TP)
II] 3Corr	Etherlink III ISA/PCMCIA Adapter
<b>≣</b> #3Com	EtherLink III PCI Bus-Master Adapter (3C590)
BB 3Com	Etherlink16/EtherLink16 TP Adapter
	7727度用日
	OK         キャンセル

図 5.2.2-5 ネットワークアダプタの選択にディスクを使用

(6) 次のダイアログが表示されますので、本製品のドライパーディスクをフロッピー ドライプに挿入し、パス「A:¥windows.nt」を入力し、「OK」をクリックしてく ださい。

709Ľ*- 7	れたりの挿入	×
đ	ソフトウェアまたしおートウェアの製造元から提供された、ソフトウェア ディスがを挿入してくたさ、いこのディスクのファイルがいまかのトライアや ディインドリなどにある場合は、そのバスを以下に入力してください。	ОК 4+>tu
	A¥windows.nt	

図 5.2.2-6 ドライバーの所在の指定

(7) 次のダイアログで、「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」を選択し、「OK」 をクリックしてください。

OEM オブションの選択	X
ハートウェア製造元のディスケでサポートされている ソフトウェア を選択してください。	
oorege FEther PCI-TXL Ethernet Adapter	
<u> </u>	

図 5.2.2-7 選択するドライバーを確認

(8)「ネットワークアダプタ(A):」の「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」
 にチェックマークを付け、「次へ(N):」をクリックしてください。

ネットワーク セットアッフ・ウィザート
【検索開始】を炒っりするとネットワークアタウツの検索を開始します。
検索開始①
-7 /737 942):
JEW-SABINES-
< 戻る(B) (次へ(N)) (1) キャンセル

図 5.2.2-8 ドライバーファイルの検索開始

 (9) 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、「次へ(N):」をク リックしてください。(詳細はシステム管理者にご確認ください。)ここでは、 「TCP/IP プロトコル」のみをチェックすると仮定します。

ネットワーク セットアッフ・ウィザート	
	ネットワープで使用するネットワーフクロコルを選択してください。不明な場合 し、システム管理者に相似してください。
	‡γŀ୨−ウ フ Ώ┠Ͽͷ(₽). ☑ 〒〒89/IP フ ΏΙϿδ □ 雪 ™MLIRk IPX/SPX 互換トランスポート □ 雪 ™etBEUI フ ΏΓϿ&
	一覧から選択(2)
	〈 戻る(8) 次へ(10) 〉、 キャンセル

図 5.2.2-9 使用するネットワークプロトコルをチェック

(10)使用するサービスを設定し、「次へ(N)」をクリックしてください。お客様のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、システム管理者にご確認ください。

ネットワーク セットアッフ・ウィザート	*
	次の一覧コは、システムこよってイクストールされるサービスが示されています。 (一覧から選択)を外かするとこの一覧に追加できます。
	4ットワーク サービス(E). ② ■ <b>COORES (</b> ② ■ NAMEDIG インケーア×イス ③ ■ ワーンステーテン ② ■ サーバー
	一覧から選択(2)
	< 戻る(B) 次へ(N) > 人 キャンセル

図 5.2.2-10 使用するサービスをチェック

(11) メッセージを確認して、「次へ(N)」をクリックしてください。



- (12) Windows NT の CD-ROM をドライブに挿入し、「D:¥i386」と入力してください。

Windows	NT セットアップ	×
ð	しくつかの Windows NT ファイルを北ーする必要があります。 セットッフゴス 次の場所でファイルを検索します。「おかの場所を検 索させたい場合は、新しい場所を入力し、「統行」を別ッしてくだ さい。	
	D.wi386	

図 5.2.2-12 WindowsNT ファイルの所在の指定

(13) 本製品の設定ダイアログが出ますので、Connection Type を選択してください。 Connection Type について詳しくは、「5.3.2 ドライバーの設定」を参照してください。

corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter Setup	×
Connection Type:	Continue
Auto-Negotiation	Cancel
	Help

図 5.2.2-13本製品の設定(例)

 (14) ドライバーおよび Windows ファイルのコピーが始まります。手順(9)で「TCP/ IP プロトコル」を選択した場合はここで「DHCP を使用するか?」を質問されま す。ここでは、デフォルトである「いいえ(N)」をクリックすると仮定します。

TCP/IP	ŧ2+}797*
⚠	キットワーク上に DHCP サーバーがある場合は、動的で IP アドレスを提供するように TCP/IP を構成することができます。 不可取場合は、 システム管理者に同い合わせてください。 DHCP を使用しますか?
	It V2

図 5.2.2-14 DHCP メッセージ

(15) (14) で「いいえ」を選択した場合は「TCP/IP のプロパティ」として IP アドレス などの値を設定します。

以下の説明では、具体的なアドレス、名称を使用しますが、これらはお客様の環境にお けるものを入力してください。

Microsoft IP アドレス	TCP/IPのブ	1 <b>パ*ティ</b> 5 アドレス】ル	ーティング	]		? >
DHCP に割り ネットワー	サーバーから IP 当てることができ ク管理者にアトル	アトルスを取得 きます。ネット スを問い合わ	礼、こ フークに フせて、	のネッ DHCI その	トワーク アダ ローバー アトシスを	ブタ カードに自動的 がない場合は、 下のホシックスに入力し
てくださ	\$L.10					
₹'ל'\$7 11] oo	<u>p):</u> rega EEther PC	I-TXI Ether	net Ar	ante		-
0	OHCP サーバーカ	いろ IP アドレス	を取得	する	(0)	
г © 1	P アトシスを指定	する( <u>s</u> ) -				
IP (	የት'レスወ:	192	168	10	101	
<b>#7</b>	ችット マスク <u>(U</u> ):	255	255	0	0	
ל'ד	ォルト ケ∽トウェイ©	<u>a</u> ): 192	168	10	10	
						≣羊糸卧( <u>D</u> )
		ОК			キャンセル	通用( <u>a</u> )

図 5.2.2-15 TCP/IP の設定 (「IPアドレス」タブ)

上図(図5.2.2-15)は あくまでも設定例です。 IP アドレスの設定について詳しくはシステム管理者にご確認ください。

(16) DNS (Domain Name System)の設定をします。「DNS」のタブをクリックして ください。下に入力例を示します。ここでは、ホスト名として「PC1」を仮定し ています。

Microsoft TCP/IP/07 μ/τ         ? ×           IP 7 Κ/L         DNS         MINS 7 Κ'L 2         μ-τ         γ
ドメイン ネーム システム (DNS)
ホスト名(日): トライン(Q):
PC1 abod.co.jp
- DNS サービスの検索順序(S)
19216810.1 下へ処1 下へ処4
_ ドメイン サフィックスの検索順序(E)
455460.jp 上へ(2) 1 下へ(2) 4
[] 編集(D
OK         キャンセル         通用(点)

図 5.2.2-16 TCP/IP の設定 (「DNS」タブ)

(17) 続いて、「WINS( Windows Internet Name Service )アドレス」の設定を行います。

Microsoft TCP/IPのプロパティ ?×
IP アトシス DNS (WINS アトシス) -ティング
Windows インターネット ネーム サービス (WINS)
7\$77\$ <u>%P</u> ):
1 corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter
ブライマリ WINS サーバー( <u>M</u> ):
ቲክ/ቃሃ wins ታ-/ነጐ(ኗ).
□ Windows 名前解決に DNS を使う(N)
■ LMHOSTS 参照を行う(E) LMHOSTS を取り込む(D
χ <sub>3</sub> ,7° (D( <u>D</u> ).
OK キャンセル 適用( <u>(4</u> )

図 5.2.2-17 TCP/IP の設定 (「WINS アドレス」タブ)

必要であれば、さらに「ルーティング」の設定を行い、最後に「OK」をクリックしてください。これらの設定の詳細についてはシステム管理者にご確認ください。

Windows NT Serverをご使用の場合は「DHCP リレー」タブがあます。DHCPリレー の詳細は Windows NT Server のマニュアルまたはオンライン ヘルブをご覧ください。

(18)「次へ(N)」をクリックしてください。

ネットワーク セットアッフ* ウィザ゛ート゛	
ここでき、ネッターグのパイパを要加ました。     福祉を見つける順序を支えることがで     パイパク表示(S):     アイパク表示(S):     アイン     「● ③ NetBIOS イクラーフェ(ス     日・③ フ・ハン     □ ③ フ・カン     ワークステーション     「有効(E)     ■効(D)	たり、このルビューがドネ州ワーク上で きます。 このサービス ・ ・ ・ しへの ・ 下への
〈 戻る(8)	

図 5.2.2-18 バインドの確認

(19)「次へ(N)」をクリックしてください。

ネットワーク セットアッフ* ウィザ・ート	*
	ネットワークを起動する準備が整いました。
	[次へ] を労みするとネルワーケを記載します。 実行中のネットワークを停止するには、[戻る] を労ップしてください。
	〈 戻る(B) 【次へ(B) / キャンセル

図 5.2.2-19 ネットワーク起動の確認

(20)「次へ(N)」をクリックしてください。ここでは「ワークグループ(W)」をその まま使用すると仮定します。詳細はシステム管理者にご確認ください。

ネットワーク セットアッフ・ウィザート		
	エビュータをワークグルーフ省 の名前を入力してくださ する名前がわからない	たにはりシレのどちらに参加させるかを選択し、そ い、どちらを選択すればよいか、あるいは入力 場合は、ネットワーク管理者に相談してください。
	I)ビュータ名(©): 次の火パー	PC1
	© 7-99711-7°₩9:	WORKGROUP
	O 1547/00:	
	באליב 🗖 באליב 🗖	の作成(型)
		〈 戻る(B) (次へ(N) > ) + 1/24

図 5.2.2-20 ワークグループなどの設定

(21)「完了」をクリックしてください。

ネットワーク セットアッフ・ウィザシート	
	このエンビューメにキャリワーカボインストールされました。 ネットワークを使用するとこは、このシステムを再起動しなければなりません。
	< 戻る(B) <u>売了</u> キャンセル

図 5.2.2-21 インストールの完了

WindowsNTのサービスパックをインストールしている場合「いいえ(N)」をクリックし、サービスパックをインストールした後にコンピュータを再起動してください。

サービスパックをインストールしていない場合、「はい(Y)」をクリックしてコン ビュータを再起動してください。

ネットワーク	設定の変更
⚠	新しい設定を有効にするには、コンビュータを再起動する必要があります。 今すぐコンビュータを再起動しますか?

図 5.2.2-22 再起動の確認

重要:本製品のドライバーをインストールすると、サービスパックによってインストールされて いた WindowsNTの最新のファイルが、CD-ROMのおいバージョンのファイルによって上 書きされます。サービスパックをインストールしている場合、コンビュータを再起動 する前に必ずサービスパックの再インストールをしてください。サービスパックをインス トールせずにコンビュータを再起動すると、WindowsNTが起動できなくなる ことがあります。

### 5.3 インストールの確認とアダプターの設定

5.3.1 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品に対してリソース(I/O アドレス、インタラプト)が割り当 てられます。これらの値は PCI ローカルバス仕様により、コンピュータによって自動的に設定 され、管理されます。割り当てられた値を確認するには Windows NT 診断プログラムをご使 用ください。

「スタート」 「プログラム」 「管理ソール(共通)」 「Windows NT 診断プログラム」 と進み、「リソース」タプをクリックすると 本デバイス「COLPCIX4」に割り当てられたリソー スを確認することができます。

Windows MルE)	◎ NT 診断プログラム - ¥¥UD ハルブ(⊞)		
パージョン	)システム】ディスフ <sup>®</sup> レイ】ト <sup>®</sup> ライフ <sup>®</sup> 】 Xモリ	サービ(リソース)開境	*ットワーク]
		HAL 97-;	えを含める(出) 🗌
IRQ 01 03 04 06 • 40 1 12 14 15	1 9747. Serial Serial COLPCOM COLPCOM COLPCOM Serial Seria		Z 種類 ISA ISA ISA ISA ISA PCI ISA ISA ISA
IF	юф <u>ио</u> #°-К <u>т</u> DMA	ND XUM	₹°ハ°fス( <u>V</u> )
	7/11パディ(P) 最新の情報に更新	新®の目的	ОК

図 5.3.1-1 リソースの確認(IRQ)

KE) ∿1/7°(⊞)				
ベージョン   システム	ディスブレイ   ドライブ   メモリ    サーt	ビスリソース 東境	***	_
		HAL JY-	スを含める(円)	
アドレス	デパイス	パス	種類	-1
0064 - 0064	i8042prt	0	ISA	
0170 - 0177	atapi	0	ISA	п
01CE - 01CF	VgaSave	0	PCI	1
01F0 - 01F7	atapi	0	ISA	1
02F8 - 02FE	Serial	0	ISA	1
0378 - 037A	Parport	0	ISA	1
03B0 - 03BB	VgaSave	0	PCI	1
03C0 - 03DF	VgaSave	0	PCI	1
03C4 - 03C5	FsVga	0	内部	1
03CE - 03CF	FsVga	0	内部	1
03D4 - 03D4	FsVga	0	内部	1
03D5 - 03D5	FsVga	0	内部	
03F0 - 03F5	Floppy	0	ISA	1
03F7 - 03F7	Floppy	0	ISA	1
03F8 - 03FE	Serial	0	ISA	1
FC00 - FCFF	COLPCIX4	0	PCI -	-1
				-
IRQŲ		XUM)	รักฬิส№	)
		1 ColBio o	1	_

図 5.3.1-2 リソースの確認 (I/O ポート)

Aンビュータに予め組み込まれているデバイスの中には「Windows NT 診断プログラム」 上に表示されない ものもあります。コンピュータのマニュアルと「Windows NT 診断プログ ラム」の2つを用いて確認を行ってください。

#### 5.3.2 ドライバーの設定

ここでは、本製品のネットワーク通信モードに関する設定を行います。

(1)「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、「アダプタ」タ ブをクリックしてください。

h7-h	
裁別 サービス フロトコ アダフタ パインド	
2.0k7-0 76'7'3(N)	
III coreca EEther POLTXI. Ethernet Adapter	
追加(A) 削除(B) 7°Dハ*ティ(P)	更新( <u>U</u> )
項目の説明(0):	
corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter	

図 5.3.2-1 ネットワーク (「アダプタ」タブ)

 (2)「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」をダブルクリックしてください。本 製品の設定ダイアログが表示されます。

corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter Setup	×
Connection Type:	ОК
Auto-Negotiation	Cancel
	Help

図 5.3.2-2 ネットワークメディアの設定

「Connection Type」リストからご使用の環境に合ったものを選択します。詳細はシステム 管理者にご確認ください。

各項目の意味は以下の通りです。

**Connection Type** 

- 100Base-TX Full\_duplex
   100MbpsのFull duplex(全二重)モードに設定します。
- 100Base-TX Half\_Duplex
   100MbpsのHalf duplex(半二重)モードに設定します。
- 10Base-T Full\_Duplex
   10MbpsのFull duplex(全二重)モードに設定します。
- 10Base-T Half\_Duplex
   10MbpsのHalf duplex(半二重)モードに設定します。
- Auto-Negotiation (デフォルト)
   Auto-negotiation を有効(Enable)に設定します。この「項目を選択した場合、接続先 機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。

接続先機器がAuto-negotiation をサポートしている場合

可能な最高の速度(100/10 Mbps)およびモード(Full/Half duplex)となります。

接続先機器が Auto-negotiation をサポートしていない場合

接続先機器(ハブなど)がAuto-negotiation機能をサポートしていない場合にこの「Auto-Negotiation」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度(100/10 Mbps)のみ自動的に検出し、検出された速度のHalf duplexモードとなります。した がって、接続先機器が100MbpsのFull duplexモードをサポートしていてもAutonegotiation機能をサポートしていない場合に最高速度(100Mbps Full duplex)を得 るためには 前述の「100Base-TX Full\_duplex」を選択する必要がありますのでご注意ください。

接続先機器がHalf duplex(半二重)のみに対応している場合、本製品をFull duplex (全二重)に設定すると、ネットワーク障害の原因となりますので避けてください。この 場合は、接続先機器と同様に Half duplex に固定するか、Auto-Negotiationを選択し てください。

### 5.4 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、例えば UTP ケーブルを本 製品から外しているなどの場合は、ドライバーをアンロードしてください。ドライバーがロー ドされたままにしておくと、Windows NT はこれらの現象をネットワークのエラーとして検出 し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象はドライバーをアン ロードする (バインドしない)ことによって回避できます。

- (1) (1) ゴントロールパネル」「ネットワーク」「パインド」と進みます。「パインドの表示」で「すべてのアダプタ」を選択してください。
- (2) 本製品のアイコンを選択し、「無効」をクリックしてください。本製品のアイコン が無効(2)アイコンに変わります。使用を再開する場合は、本製品のアイコン を選択し、「有効」をクリックします。

λəhワ−5 ? ×
識別 サービス フロトコル アタフィ バインド
ネットワークのハイルドとは、このエビュータエニークストールされているネットワークカート 、フロコム、およびタービン間の7種誌のことです。このハーン学校書って、ネットワーク のハイン学校書がして、たり、このコビューグがネットワーク上で情報を検索する順序 を変更することができます。
ハイント'の表示(S): すべてのアタブタ -
() 또한 또한 () correga FEther POI-TXL Ethernet Adapter
有効の「無効の」上への「下への」
OK ++>/2/L

図 5.4-1 バインドの無効化

### 5.5 **ドライバーの削除**

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。たたし、ドラ イバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除されませ ん(一部の設定値、例えばTCP/IPにおけるIP アドレスなどは削除されます)。したがって、 本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用できます。

- (1)「スタート」「設定」「コントロールパネル」「ネットワーク」と進み、「ネットワーク」の「アダプタ」タブをクリックしてください(図 5.3.2-1)。
- (2)「ネットワークアダブタ(N):」で「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」 を選択し、「削除(R)」をクリックしてください。

*>トワーク	×
識別 サービス フロトコル アダフラ パント	
ネットワーク アダン *30N):	
III) sorega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter	
i音tm(A) 首(版金(R) 5 フクロム*ティ(P) 更新(U)	
Sg B C/3x94Q: corege EEther PCI-TX1 Ethernet årlenter	
OK キャンセル	

図 5.5-1 ネットワークアダプタを削除

(3) フロッピーディスクが入っている場合は取り出して、「はい」をクリックし、コン ピュータを再起動します。

警告	×
⚠	この操作はコンホーネントをシステムから削取組ます。 再度インストールするときは、その前にシステムを再起動してください。 統行しますか?
	III.KOJ UNIŻNO

図 5.5-2 削除の確認

### 5.6 **ドライバーの再インストール**

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「5.5 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。
- (2)「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、「アダプタ」タ ブで「追加…」ボタンをクリックしてください。「5.2.2 新規インストール」の手 順(5)から再開することになります。

# 6 Windows 2000

本製品のドライバーを Windows 2000 上にインストールする手順を説明します。

ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。

### 6.1 ドライバーのインストール

アップデートインストールについて



Windows2000をWindows95/98からアップデートインストールされる場合は、本製品のド ライバーを削除し、本製品をパソコンから取り外した状態でアップデートインストールしてく

#### 6.1.1 用意するもの

- FEther PCI-TXL本体、UTP ケーブルなど
- コンピュータ (Windows 2000 インストール済み)
- FEther PCI-TXI ドライバーディスク (本製品に付屋)



#### 6.1.2 新規インストール

本製品のドライバーを Windows 2000 に新規インストールする手順を説明します。 ここで は、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今 回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します。



(1) 本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けた状態で、コンピュータの電源 をオンにし、Windows 2000を起動してください。

(2) Windows 2000 によって本製品が検知され、「新しいハードウェアが見つかりました」という表示の後に、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックしてください。

新しいハードウェアの検出ウィザード	
	新しいハードウェアの検索ウィザードの開始
	このウィザードでは、ハードウェア デバイス用のデバイス ドライバのイン ストールを行います。
	続行するには、 [太へ] をクリックしてください。
	< 戻る(B) (法へび) キャンセル

図 6.1.2-1 「新しいハードウェアの検出ウィザード」の起動

(3)「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

新しいハードウェアの検出ウィザード
ハードウェア テバイ、ドライバのインストール デバストライバは、ハードウェア デバイスがオペレーティング システムで正しく動作するように設定する シフトウェア プロラムにする。
次のデバイスをインストールします
イーサネット コントローラ
デバイスのドライバはハードウェア デバイスを実行するソフトウェア プログラムです。新しいデバイスにはドラ イバが必要です。ドライバ ファイルの増加を指定してインストールを完了するには「次へ」をグリックしてくだ さし。
検索方法を避知して(生な)
○デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)(5)
○ このデリバスのは大地のトライハを表示して、その一覧から選択する(型)
< 戻る(B) 次へ(M) 入 キャンセル

図 6.1.2-2 検索方法の選択

(4)「場所を指定」を選択し、「次へ」をクリックします。

新しいハードウェアの検出ウィザード
Fライバ ファイルの特定 ドライバ ファイルをとこで検索しますか?
次のハードウェア デバイスのドライバ ファイルの検索
corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter
ー このコンピュータ上のドライバ・データベースおよび指定の検索場所から適切なドライバを検索します。
検索を開始するには、 D太へ】 をクリックしてください。 フロッピー ディスクまたは CD-ROM ドライブで検索して いる場合は、 フロッピー ディスクまたは CD を挿入してから D次へ】 をクリックしてください。
検索場所のオプション
フロッピー ディスク ドライブ(型) ロ CD-DOM とライブ(型)
✓ 場所を指定(S)
I microsort windows Update (M)
< 戻る(g) (方へ10) (キャンセル) キャンセル

図 6.1.2-3 「場所を指定」をチェック「√」

(5) 本製品付属のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「製造元のファイルのコピー元」に「A:¥win2000」と入力して、「OK」をクリックして ください。

新しいハー	『ウェアの検出ウィザード	×
2	製造元が配布するインストール ディスクを指定したドライブに挿入 して、[OK] をクリックしてください。	0K ++>\tz1
<	戦後元のファイルのコピー元(Q): A¥WIN2000 ▼	参照(目)

図 6.1.2-4 ドライバーのパス (所在)の指定

(6) 次のダイアログで、ハードウェアデバイスの名称が「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」となっていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。

新しいハードウェアの検出ウィザード
Fライバ ファイルの検索 ハードウェア デバイスのドライバ ファイル検索が終了しました。
次のデバイスのドライバが検索されました。
Coresa FEther PCI-TXL Ethernet Adapter
このデバイスのドライバが見つかりました。このドライバをインストールするには、[次へ] をクリックしてくださ い。
a¥win2000¥netcokk.inf
〈戻る(8) 「広へいひ>」、キャンセル

図 6.1.2-5 ハードウェアデバイス名の確認

(7) 下図のようなダイアログが表示された場合は「はい」をクリックします。Microsoft デジタル署名はありませんが、本製品は正常に動作します。

デジタル署名が見つかりませんでした	
•	Microsoft デジタル署名によって、ソフトウェアが Windows 上でテスト され、その後変更されていないことが保証されます。
	インストールしようとしているソフトウェアには Microsoft デジタル署名 がありません。そのために、このソフトウェアが Windows で正しく動作 することは(保証されません。
	corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter
	Microsoft デジタル署名されたソフトウェアを検索する場合は、 Windows Update Web サイト http://windowspdate microsoft.com を参照し、利用できるソフト ウェアであるかどうかを確認してください。
	インストールを統行しますか?
(パンズの) 詳細情報(例)	

図 6.1.2-6 デジタル署名の確認

(8)「このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました。」と表示されますので、「完了」をクリックしてください。

新しいハードウェアの検出ウィザード	
	新しいハードウェアの検索ウィザードの完了
	corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter
	このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました。
5.01	フィザードを閉いるには「完了〕をクリックしてください。
	< 戻る(B) 二元了 キャンセル

図 6.1.2-7 インストールの完了

(9) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き「6.2 インストールの確認 とアダプターの設定」にお進みください。

### 6.2 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定 を行います。

- 6.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認
  - (1)「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。



(2) 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックします。



(3)「ネットワークアダプタ」アイコンの左の「+」をクリックしてください。インストールが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下に「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」が表示されます。



本製品のアイコンに「!」「?」などのマークが付いていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「6.6.1 本製品を認識しない」をご覧ください。

(4)「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」をダブルクリックしてください。
 「デパイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認してください。


#### 6.2.2 ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワークとダイヤルアップ接続」で、使用するプロトコルク ライアントなどの設定を行います。インターネットへのアクセスを行うためには(WWW プラ ウザーなどをご使用になるためには)、TCP/IP プロトコルが必須です。ネットワーク接続の 設定に関しては、「7 ネットワークの設定」(p.85)」を参照してください。設定に関する詳細 は、お客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。

#### 6.2.3 ドライバーの設定

ここでは、本製品のネットワーク通信モードに関する設定を行います。

- (1)「スタート」「設定」「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックします(図 6.2.1-3)。
- (2)「デバイスマネージャ」で「ネットワークアダプタ」「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」「プロパティ」「詳細設定」タブと進み、ネットワーク 通信モードの設定を行います。「値(V)」リストからご使用の環境に合ったものを 選択します。詳細はシステム管理者にご確認ください。

corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapte	ョのプロパティ ? ×
全般 詳細設定 ドライバ リソース	
このネットワークアダフタでは次のブロパティを利用できます。左側で変更するブロパティをク リックしてから、右側でその値を選択してください。	
プロパティ(P): Concestion More DMA Burst Length Flow Control	(BQ): Auto-Negotation T005ase-Tx 1005ase-Tx
L	OK キャンセル

図 6.2.3-1 詳細設定

各項目の意味は以下の通りです。

**Connection Type** 

- 100Base-TX
   100Mbpsの Half duplex (半二重)モードに設定します。
- 100Base-TX Full duplex
   100Mbps の Full duplex (全二重)モードに設定します。
- 10Base-T (Twist Pair)
   10Mbpsの Half duplex (半二重)モードに設定します。
- 10Base-T Full Duplex
   10Mbpsの Full duplex (全二重)モードに設定します。
- Auto-Negotiation (デフォルト)
   Auto-negotiation を有効(Enable)に設定します。この項目を選択した場合、接続先 機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。

接続先機器がAuto-negotiation をサポートしている場合 可能な最高の速度(100/10 Mbps)およびモード(Full/Half duplex)となります。

接続先機器がAuto-negotiation をサポートしていない場合

接続先機器 (ハブなど)が Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合にこの 「Auto-Negotiation」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度(100/10 Mbps)のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplex モードとなります。した がって、接続先機器が 100Mbps の Full duplex モードをサポートしていても Autonegotiation機能をサポートしていない場合に最高速度 (100Mbps Full duplex)を得 るためには、前述の「100Base-TX Full duplex」を選択する必要がありますのでご注 意ください。

接続先機器が Half duplex (半二重)のみに対応している場合、本製品を Full duplex (全二重)に設定すると ネットワーク障害の原因となりますので避けてください。この 場合は、接続先機器と同様にHalf duplex に固定するか、Auto-Negotiation を選択し てください。

DMA Burst Length

デフォルトは「16 DWORDS」です。 この値は デフォルト値のままお使い頂くことを推 週(たします。

Flow Control

デフォルトは「Disabled (無効)」です。 Flow Control 機能を使用する場合は この値を 「Enabled (有効)」に設定してください。特別、Flow Control を必要としない場合はデ フォルトの「Disabled (無効)」のままお使い頂くことを推奨いたします。

## 6.3 **ドライバーの更新**

ドライバーの更新は、弊社のホームページ(http://www.corega.co.jp/)などから、本製品用の 最新のドライバーを入手した場合に実行します。



以下の手順を実行するには、Administrators グループ所属のユーザー名でログオンして ください。

- (1) 「コントロールパネル」 「システム」と進み、「ハードウェア」タブを選択し、 「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。「ネットワークアダプタ」の 「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」をダブルクリックしてください(図 6.2.1-3 参照)
- (2) 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックしてください。

corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapterのプロパティ ? ×		
全般 詳細設定 ドライバ ソース		
<b>H</b>	corea FEther PCI-TXL Ethernet Adapter	
	プロバイダ: 日付: バージョン: デジタル署名者:	corega K.K. 利用できません 25200 デジタル署名されていません
このデバイスで読み込まれたドライバファイルの詳細を表示するには、「ドライバの詳細」をク リックします。このデバイスのドライバファイルを制除するには、「呼声】をクリックします。このデ バイスのドライバファイルを変新するには、「ドライバの更新」をクリックします。		
	ドライバの詳細(型).	- HIRW
		OK キャンセル

図 6.3-1「ドライバの更新」ボタン

(3)「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が表示されます。「次へ」をク リックしてください。



図 6.3-2「デバイスドライバのアップグレードウィザード」の起動

(4)「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択し、 「次へ」をクリックしてください。

デバイス ドライバのアップグレード ウィザード
ハードウェア デバス ドライバのインストール デバス ドライバは、ハードウェア デバイスがオペレーティング システムで正しく動作するよび設定する ンフドウェア プログラムです。
)次のデバイスのドライバをアップグレードします:
corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter
デバイスのドライバを新しいページョンにアップグレードすると、このデバイスの動作が向上したり、機能が追加されます。
検索方法を選択してください。
〇 デバイスに最適かたち (15.65 売まる (#2時)の)
○このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する(型)
(原3個) 次へ(11) キャンセル

図 6.3-3 検索方法の選択

(5) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」をクリックします。

デバイス ドライバのアップグレード ウィザード	
ネットワーク アダプタの選択 ネットワーク アダプタを選択します	
ハードウェアに一致するネットワークアダプタをク ンストールディスクがある場合は、「ディスク使用	リックしてから [OK] をクリックしてください。このコンボーネントのイ 町 をクリックしてください。
ネットワーク アダプタ(Q) corees FEther PCI-TXL Ethemet Adapter	
<ul> <li>● 互換性のあるハードウェアを表示(©)</li> <li>○ このデバイス クラスのハードウェアをすべて表示(<u>A</u>)</li> </ul>	7-727使用4日
	〈 戻る(8) 〉 次へ(10) 〉 キャンセル

図 6.3-4 ドライバーの更新には、ディスクを使用

(6) 本製品の最新のドライパーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「製造 元のファイルのコピー元」に「A:¥win2000」と入力して、「OK」をクリックし てください。



図 6.3-5 ドライバーの所在の指定

(7) Windows 2000 によってドライバーディスクが検索され、次のダイアログが表示 されます。「次へ」をクリックしてください。

デバイス ドライバのアップグレード ウィザード
<b>ネットワーウ アダプタの運家</b> ネットワーウ アダプタを選択します
ハードウェアニー製まえキャレフーク アダフタキカリックしてから (200) キクリックしてください。このエンボーネントのイ ンストール ディスクがある場合は、ビーイスク使用 をクリックしてください。
ネットワーク アガブタ(Q) Cocrees FEther POI-TOL Ethernet Adapter
ディスク使用(日)
〈戻る(8) (次大八日) キャンセル

図 6.3-6 ネットワークアダプタの選択

(8) 次のダイアログで、ハードウェアデバイスの名称が「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」となっていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。

デバイス ドライバのアップグレード ウィザード
デバイストライバのインストールの開始 デバイストライバは共産の設定でインストールだれます。
)次のハードウェア デバイスのドライバタインストールします:
Corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter
既定の設定を使用して、このハードウェア デレイスのシフトウェアをインストールします。 新しい ハードウェア のソフトウェアをインストールするには じたへ」 をクリックしてください。
〈戻る( <u>B</u> ) (次へ( <u>U)</u> ) キャンセル

図 6.3-7 ドライバーの確認

(9) 下図のようなダイアログが表示された場合は「はい」をクリックします。Microsoft デジタル署名はありませんが、本製品は正常に動作します。

デジタル署名が見つかりませんでした 🛛 🛛 🗙		
<b>()</b>	Microsoft デジタル署名によって、ソフトウェアが Windows 上でテスト され、その後変更されていないことが保証されます。	
	インストールしようとしているソフトウェアには Microsoft デジタル署名 がありません。そのために、このソフトウェアが Windows で正しく動作 することは保証されません。	
	corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter	
	Microsoft デジタル署名されたソフトウェアを検索する場合は、 Windows Update Web サイト http://windowsupdate microsoft.com を参照し、利用できるソフト ウェアであるかどうがを確認してください。	
	インストールを続行しますか?	
	(大)之心 詳細情報(10)	

図 6.3-8 デジタル署名の確認

(10)「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されます。「完了」 をクリックしてください。以上でドライバーの更新は終了です。



図 6.3-9 更新の完了

# 6.4 ドライバーの再インストール

ドライバーの再インストールを行う場合は、ドライバーをいったん削除してから行います。ドラ イバーのインストールに失敗した場合も、間違ってインストールされたドライバーをまず削除 してから再びインストール作業を行います。



- (1) 「6.6.1 本製品を認識しない」を参考にドライバーを削除してください。
- (2)「6.1.2 新規インストール」の手順にしたがい、本製品のドライバーをインストー ルします。

## 6.5 本製品を一時的に使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、たとえば UTP ケーブルを本 製品から外すような場合は、下記の手順にしたがって本製品のドライバーを無効にしてくだ さい。



以下の手順を実行するには、Administrators グループ所属のユーザー名でログオンして ください。

(1)「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。

- (2)「システムのプロパティ」で「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」 ボタンをクリックします。
- (3)「ネットワークアダブタ」の下の「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」を 右クリック<sup>1</sup>し、メニューより「無効」をクリックしてください<sup>2</sup>。

🚐 デバイス マネージャ	_ 🗆 ×	
│ 操作( <u>A</u> ) 表示( <u>V</u> ) │ ← → │ 🖿	💵   🖆   😫   😹 😹	
B- 🚇 UD-BORDTEST		
💼 🎡 DVD/CD-ROM ドライブ		
📴 🚭 IDE ATA/ATAPI באלע 🔁		
🔋 🖶 🙀 USB (Universal Serial Bus) 🗆	レトローラ	
■ 😪 キーボード		
💼 🛄 コンピュータ		
由 🐼 サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ		
😐 🚊 システム デバイス		
■ 🗇 ディスク ドライブ		
白 🖳 ディスプレイ アダプタ		
🖻 📑 ネットワーク アダプタ		
corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter		
🔋 🖻 🔁 フロッピー ディスク コントローラ 🛛	無効(D)	
🔋 🖅 フロッピー ディスク ドライブ	<u>育功策(∐)</u> '∖\	
申- ダポート (COM と LPT)	ハードウェア変更のスキャン(A)	
■ 🖳 マウスとそのほかのポインティング		
由-■ モニタ	フロパティ(13)	

図 6.5-1 デバイスマネージャで無効を選択

(4) 「はい」をクリックします。

このデバイスを無効にすると機能しなくなります。このデバイスを無効にしますか	corega	corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter		
	⚠	このデバイスを無効にすると機能しなくなります。このデバイスを無効にしますか?		
<u>acia</u> <u>cica</u>		Carrow V Criston		

図 6.5-2「はい」をクリック

(5)「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」のアイコンに「×」が付き、ドラ イバーが無効になります。

L.	ė 🗪	トワーク アダプタ
ι.	(	c rega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter
ι.	•	ディスクコントローラ
μ.	9 🖃 70	ッピー ディスク ドライブ
义	6.5-3	無効化されたデバイス

- 1. 「マウス」の「右ボタン」を1回押す(クリックする)操作です。
- 「コントロールパネル」「ネットワークとダイヤルアップ接続」の「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、メニューより「無効にする」を選択しても同じ結果となります。

(6) 再び、本製品を使用するときは、「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」を 右クリックし、メニューより「有効」をクリックしてください。



# 6.6 ドライバーのトラブル

#### 6.6.1 本製品を認識しない

「6.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがってインストールの確認を 行った際に、「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」アイコンの表示が以下のように なっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

- 「ネットワークアダプタ」の項目がない
- •「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった
- 本製品のアイコンに「!」「?」マークが付く

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行 してください。

く 以下の手順を実行するこは、Administrators グループ所属のユーザー名でログオンして ください。

注意

 (1) 不正にインストールされた「corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter」アイコ ンを右クリックし、メニューより「削除」をクリックします。



図 6.6.1-1 デバイスマネージャからの削除

(2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。



図 6.6.1-2 デバイス削除の確認

- (3)「本製品のアイコンが消えていることを確認してください。
- (4) Windows 2000 を再起動(「スタート」 「シャットダウン」 「再起動」 「OK」)します。
- (5)「6.1.2 新規インストール」の手順を参考にし、本製品のドライバーをインストー ルします。



#### 6.6.2 「近くのコンピュータ」が表示されない

「マイネットワーク」の「近くのコンピュータ」フォルダに他のコンピュータが表示されない 場合は、コンピュータの識別情報(ネットワーク ID)が適切に設定されているかどうかを確認 してください。

- (1) 「Administrator」権限でログオンしてください。
- (2)「スタート」「設定」「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリッ クしてください。
- (3) 「ネットワーク ID」タブを選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



(4)「コンピュータ名」、「次のメンバ」が正しく設定されているか確認してください。

識別の変更 ?>
このコンピュータの名前とメンパシップを変更できます。変更するとネットワーク リソースへのアクセスに影響する可能性があります。
コンピュータ名(0):
crimson
フル コンピュータ名:
crimson.
≣¥細( <u>M</u> )
(次のメンハー
⊙ ワークグループ(W):
WORKGROUP
やンセル

図 6.6.2-2 識別の変更

#### 6.6.3 ご使用コンピュータの確認

ご使用コンピュータの OS が Windows 2000 のプリインストールタイプでない場合 (Windows3.1/95/98からアップグレードされた場合など)は ご使用のコンピュータ本体が Windows 2000 の plug & play 機能に対応していない可能性があります。「6.6 ドライバー のトラブル」や「8 ネットワークのトラブル」(p.97)」の手順で操作しても正常に動作しない 場合は ご使用コンピュータメーカーにお問い合せください。

# 7 ネットワークの設定

ここでは、ネットワーク接続をするための設定例について説明します。各 OS の「インストール の確認とアダプターの設定」を参照し、LAN アダプターの設定が正常であることを確認した 後で、ネットワークを利用したデータの送受信を行ってみましょう。データの送受信をするた めには、各コンピュータについて設定が必要になります。

### 7.1 Windows98/95

#### 7.1.1 ネットワーク接続をするための設定方法

ネットワーク接続をするためには、すべてのコンピュータについて以下の設定が必要になり ます。

- 「プロトコル(TCP/IPまたは NetBEUI)」<sup>1</sup>、「Microsoftネットワーククライアント」の確認、「Microsoftネットワーク共有サービス」の追加
- ユーザー情報、または識別情報(コンピュータ名、ワークグループ)の確認
- コンピュータの共有設定(ハードディスク、ブリンター等の共有)
   ここでは、ハードディスクの共有を説明しています。プリンターを共有する場合は、プリンターメーカーによって操作が異なりますので、プリンターメーカーにご相談ください。

#### 7.1.2 ネットワークコンポーネントの確認

はじめにネットワーク接続に必要なコンポーネントがインストールされているか確認します。 ここでは、Windows98の場合を例にしています。

- (1) 「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」を選択します。
- (2) 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
- (3)「ネットワークの設定」タブの「現在のネットワークコンポーネント」<sup>2</sup>に、「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されていることを確認します。

ここでは、「TCP/IP」を例に説明しますが、ピアツーピア接続を行うには、「NetBEUI」 プロトコルなども利用できます。

Windows95 の場合は、「現在のネットワークコンポーネント」が「現在のネットワーク構成」という表示になります。

ネットワーク ネットワークの設定 識別情報 アクセスの制御	? ×
現在のネットワーク コンボーネント(W) 副 Microsoft ネットワーク クライアント ■Coreea FEHer FOI-TXL Ethernet Adapter TCP/IP	次の3種類が必ず構成に入っていること を確認してください Microsoftネットワーククライアント coregaのLAN カード TCP/IP(または NetBEUI)プロトコル
道知(少<         利率(全)         フロパラマ           優先前にロガオンダあたらパワークシン         Microsoft ネットワークシン         アイバレンジンクの共有(少           ファイルとガンンタの共有(少         - 経明         - 経明	(例) 「優先的にログオンする」リストボックス の「」をクリックし、「Microsoft ネット ワーククライアント」を選択してください
ОК	+v>tu

図 7.1.2-1 「ネットワークの設定」

「TCP/IP(または NetBEUI)」と「Microsoft ネットワーククライアント」が「現在のネット ワークコンポーネント」に無い場合は、以下の【ネットワークコンポーネントに無い場合】を 参考に各サービスやプロトコルを追加してください。

【ネットワークコンポーネントに無い場合】

- 「Microsoft ネットワーククライアント」が無い場合は、「7.1.4「Microsoft ネットワーククライアント」の追加」(p.87)へ
- 「TCP/IP」(または「NetBEUI」)が無い場合は、「7.1.5 プロトコル(TCP/IPまたは NetBEUI)の追加」(p.88)へ
- 「coregaのLANカード」が無い場合は、各OSの「インストールの確認とアダプターの 設定」へ

#### 7.1.3 「Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加

以下の手順に従い、「Microsoft ネットワーク共有サービス」を追加します。ここでは、 Windows98の画面を例にしています。

(1) 「ネットワークの設定」タブの「ファイルとプリンタの共有」ボタンをクリックしま す。 (2)「ファイルを共有できるようにする」および「プリンタを共有できるようにする」 をチェックし「OK」をクリックします。画面が戻り「Microsoft ネットワーク共 有サービス」が追加されます。



図 7.1.3-1 「Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加

7.1.4 「Microsoft ネットワーククライアント」の追加

ここでは「Microsoft ネットワーククライアント」の追加方法について説明します。以下の手順に従ってください。ここでは Windows98 の場合を例にしています。

 (1)「スタート」メニューの「設定」「コントロールパネル」「ネットワーク」を ダブルクリックし、「ネットワークの設定」タブで、「追加」をクリックしてくだ さい。

ネットワーク	? ×
ネットワークの設定	
現在のネットワーク コンポーネント(型):	
Corega FEther PCI-TXL Ethernet Adapter	
	- 1

図 7.1.4-1 ネットワーク構成ファイルの追加

(2)「インストールするネットワークコンポーネント」の一覧より、「クライアント」を 選択し、「追加」をクリックします。

ネットワーク コンボーネントの選択	×
インストールするネットワークコンボーネント :	
	illinia)
	キャンセル
トライアンル(ナー(ほわのつ) い。」カー(協会サス相称もも現代) キナ	]
22122142 ISTOTACT - 2018000 2 2418 HE STRIFT OF 2.	
	]

図 7.1.4-2 「ネットワーククライアント」の追加

 (3)「製造元」に「Microsoft」、「ネットワーククライアント」に「Microsoft ネット ワーククライアント」を選択し、「OK」をクリックします。

ネットワーク クライアントの選邦	×
インストールするは	ットワーク クライアントをクリックして、[0K] をク
リックしてください	。このデバイスのインストール ディスクがある場合
は、「ディスク使用」	をクリックしてください。
製造元(世):	キットワーク・クライアント
■Banyan	■ Microsoft キットワーク クライアント
● Microsoft	■ Microsoft アント
■ Nover	■ Microsoft アント
	ディスク使用(山) () キャンセル

図 7.1.4-3 「Microsoft ネットワーククライアント」を追加

「OK」ボタンをクリックすると(2)の画面に戻ります。「7.1.2ネットワークコンポーネントの確認」で追加されていることを確認してください。

#### 7.1.5 プロトコル (TCP/IP または NetBEUI) の追加

ここではネットワークプロトコルの追加について説明します。TCP/IP プロトコルについては、 必要な場合のみ追加してください。TCP/IP の設定については、システム管理者にご確認く ださい。

(1)「スタート」メニューの「設定」「コントロールパネル」「ネットワーク」を ダブルクリックし、「ネットワークの設定」タブで、「追加」をクリックしてくだ さい。



図 7.1.5-1 ネットワーク構成ファイルの追加

(2)「インストールするネットワークコンポーネント」<sup>1</sup>の一覧より、「プロトコル」を 選択し、「追加」をクリックします。

ネットワーク コンボーネントの選択	×
インストールするネットワーク コンボーネント :	
思クライアント	1 iBhi(A). ND
N TA KAU	キャンセル
~	1
プロトコルはコンピュータが通信するための言語です。通信する複 数のコンピュータ同士は、同じプロトコルを使用する必要がありま	
[ ] ]	]

図 7.1.5-2 「ネットワークプロトコル」の追加

 (3)「製造元」に「Microsoft」、「プロトコル」に「TCP/IP(または NetBEUI)」を選 択し、「OK」をクリックします。

ネットワーク ブロトコルの選択	×
インストールするネー ックしてください。 は、[ディスク使用]	ットワーク ブロトコルをクリックして、[0K] をクリ このデバイスのインストール ディスクがある場合 をクリックしてください。
製造元(里):	ネットワーク ブロトコル :
🍯 Banyan	🍞 ATH コール マネージャ
N= IDM	☆ IPX/SPX 互換ブロトコル
() Microsoft	Wicrosoft 32 ビット DLC 🔤
g Noren	Wicrosoft DLC
	R TOP/IP
	● ■220077様プロトコル
	ディスク使用(世)
	キャンセル

図 7.1.5-3 プロトコルを追加

(4)「OK」ボタンをクリックすると(2)の画面に戻ります。

Windows95 の場合は、「インストールするネットワークコンポーネント」が「インストールするネットワーク構成ファイル」という表示になります。

TCP/IPの詳細設定や他のプロトコルの設定については、Windows98/95のネットワーク設定に関する参考書を参照していただくか、システム管理者にご確認ください。

### 7.2 Windows 2000

ここでは多くの環境で必須と思われる TCP/IPの基本設定についてのみ説明します。

TCP/IP の詳細設定や他のプロトコルの設定については Windows 2000 のネットワーク設定に関する参考書を参照していただくか、システム管理者にご確認ください。

- (1)「スタート」「設定」「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択してください。
- (2) 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



図 7.2-1

(3)「インターネットプロトコル(TCP/IP)」をクリックし、「プロパティ」をクリッ クしてください。

液		
接続の方法:		
🗐 corega FEther	PCI-TXL Ethernet Adap	oter
		構成(C)
チェック マークがオンにな・	っているコンボーネントがこの	の接続で使用されています(2)
チェック マークがオンにな	っているコンポーネントがこの	の接続で使用されています(Q)
チェック マークがオンにない 図  豊 Microsoft ネット	っているコンボーネントがこ	D接続で使用されています②
チェック マークがオンになー	っているコンボーネントがこ。 ・ワーク用クライアント ・ローク用フライルとクリンタ ロトコル・ログタイの3	の接続で使用されています(2) 共有
チェック マークがオン(ごな) ☑ 黒 Microsoft ネット ☑ 黒 Microsoft ネット ☑ 3 ゴンターネットプ	っているコンボーネントがこ ・ワーク用クライアント ローク用フライルとクリンタ ロトコル(TCP/IP)	の接続で使用されています(2) 共有
チェック マークがすンにな マ 黒 Microsoft ネット マ 3 インターネット フ	っているコンポーネントがこく ・ワーク用クライアント ローク田ファイルとウリンタ ロトコル(TCP/IP)	の接続で使用されています◎) 共有

図 7.2-2

(4) TCP/IP パラメーターの設定を行います。

	「図 7.2-3」は、	、あくまでも設定の一例です。	IP アドレスの設定についての詳細は	シ
?\	ステム管理者に	ご確認ください。		

と絞 ネットワークでこの機能がサポートされてい きます。サポートされていない場合は、ネ てくだざい。	いる場合は、IP i ットワーク管理者	設定を に通り	自動的 Da IP	こ取得す 設定を開	ねことがで 肌い合わせ
○ IP アドレスを自動的に取得する(	<u>)</u> )				
─● 次の IP アドレスを使う(S):					
IP アドレスΦ:	192	168	1	101	
サブネット マスク(山):	255	255	255	0	
デフォルト ゲートウェイ (①):	192	168	1	10	
○ DNS サーバーのアドレスを自動的	りに取得する( <u>B</u> )				
一● 次の DNS サーバーのアドレスを(	更う( <u>E</u> ):				
優先 DNS サーバー(P):	192	168	1	1	
代替 DNS サーバー(A):	192	168	2	1	
				I¥\$8I9	定⊻
•	R		SP		45 47 11

図 7.2-3

IP アドレスを自動設定する場合(DHCP を使う) ネットワーク環境がDHCP サーバーによって運用されている場合「IP アドレスを自動的 に取得する」を選択し、「OK」をクリックしてください。

IP アドレスを手動で設定する場合(DHCP を使わない) ネットワーク環境がDHCP サーバーによって運用されていない場合「IP アドレス」、「サ ブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「優先 DNS サーバー」、「代替 DNS サー バー」のIP アドレスを入力し、「OK」をクリックしてください。

(5) 「OK」をクリックしてください。これで TCP/IP の設定は完了です。

### 7.3 識別情報の確認

以下の手順に従い、「識別情報」を確認します。ここでは Windows98 の場合を例にして います。

(1)「コントロールパネル」「ネットワーク」をダブルクリックし、「識別情報」タ ブをクリックしてください。

Windows95の場合は、「識別情報」というタブが「ユーザー情報」というタブになります。 、Windows 2000の場合は、「コントロールパネル」「システム」「ネットワーク ID」 ダブの「プロパティ」ボタノをクリックすると設定画面が表示されます。

ユーザー情報を指定 - コンピュータ名: 英数半角でコン ピュータごに名前を付けてください - ワークグルーブ名:英数半角ですべて のコンピュータを同じワークグループ 名にしてください - コンピュータの説明:コンピュータ名 の福足説明です(必ず入力する必要はあ りません)

図 7.3-1 「識別情報の確認」

設定する項目の詳細は、次の通りです。

- コンピュータ名:ネットワーク上でコンピュータを識別するための名称です。
   各コンピュータごとに固有の名称を設定します。
   コンピュータ名は 自由に設定できますが、以下にご注意ください。
   15 文字以下の半角英数字で入力すること
   接続する全てのパソコン名は異なること
- ワークグループ:ネットワーク上のコンピュータをグループ分けするための名称です。特に分ける必要がなければ、ネットワーク内のコンピュータは、すべて同一の名称にしてください。
  - ワークグループ名は、自由に設定できますが以下にご注意ください。 15文字以下の半角英数字で入力すること 全てのワークグループ名は同じにすること LAN環境へアクセスする場合は所属するネットワークのワークグループと同じにす ること ワークグループ名などの詳細は、ネットワーク管理者へお問い合わせください。
- コンピュータの説明:「コンピュータ名」の補足説明です。特に入力しなくても構いません。
- (2)「コンピュータ名」、「ワークグループ名」、「コンピュータの説明」を設定します。
   設定が終わったら、「OK」ボタンをクリックしてください。

重要:ワークグルーブ名は、接続する全てのコンピュータに同じ名前を設定してください。 WindowsのOS自体が、コンピュータ名・ワークグループ名の漢字(日本語・カナ)に対応していません。必ず英数半角をご使用ください。

(3) Windowsの再起動が要求されますので、「OK」ボタンを押して、再起動してください。

(4) Windows が再起動され「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されます。

ネットワーク パスワー	-ドの入力	? ×
	Microsoft ネットワーク へのパスワードを入力してくださ い。	OK Second
ユーザー名(U):	corega	10200
ハ*スワート*( <u>P</u> ):	*****	

図 7.3-2 「ネットワークパスワードの入力」

- ネットワークを使用するときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。
   ただし、ネットワークを使用しないときは入力する必要はありません。
- ユーザー名とパスワードは、Windowsをセットアップする過程で設定しています。
   初めてログインするときは、セットアップ時のユーザー名とパスワードを入力して、
   「OK」ボタンをクリックしてください。(パスワードは空白でも可能です)

ユーザー名とパワワードは任意に設定できます。特に決まりはありません。また名称によって通信ができないという事もありません。



「ネットワークパスワードの入力」ダイアログは、「ネットワークの設定」ダイアログ(「コントロールパネル」
「ネットワーク」)の、「優先的にログオンするネットワーク」の設定で、「Microsoftネットワーククライアント」が選択されていない場合は表示されません。



「ユーザー名」」「パスワード」は毎回、必ず入力して、「OK ボタンをクリックしてください。 入力しない場合は、ネットワークでの通信ができなくなることがあります。

# 7.4 コンピュータのディスク共有設定

コンピュータのドライブやフォルダの共有を設定します。ここでは、「マイコンピュータ」の 中の「Cドライブ」を共有するときの手順を例に説明します。

- (1) デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
- (2)「マイコンピュータ」ダイアログの「(c:)」ドライブアイコン上で右ボタンをクリックし、メニューを表示して「共有」を選択します。



- (3)「共有」タブをクリックし、「共有する」をチェックします。
- (4)「共有名」、「アクセス権の種類」、「パスワード」などの項目を運用方法に合わせて 設定します。

(0:)のプロパティ ? ×
全般 ツール 共有
C ##L #(1(0)
<ul> <li>● 共有する(S)</li> </ul>
共有名(N): C
アクセスの種類:
<ul> <li>読み取り専用(R)</li> </ul>
O フルアクセス(E)
<ul> <li>パスワードで区別(Q)</li> </ul>
パスワード:
読み取り専用アクセス用(E): ******
フルアクセス用(1): ########

図 7.4-2 「共有」の設定

設定する項目の説明は、次の通りです。

- 共有しない:ドライブの共有を解除するときに選択します。
- 共有する:ドライブの共有を設定するときに選択します。
- 共有名:共有するドライブの名称を変更することが出来ます。
- コメント:共有するドライブやフォルダに対する説明を入力します。
   (必ず入力する必要はありません)
- アクセス権の種類:共有するドライブに対して読み書きの許可を設定します。
   ・読み取り専用: 共有するドライブを読み込み専用にします。
  - ・フルアクセス: 共有するドライブに読み書きを許可します。
  - ・パスワードで区別:パスワードにより、読み書きを許可します。
- パスワード:「アクセス権の種類」に対するパスワードです。
   ・読み取り専用アクセス用:読み取りを許可するときのパスワードを設定します。
   ・フルアクセス用:読み書きを許可するときのパスワードを設定します。
- (5) C ドライブのアイコンが次の画面のようになります。



図 7.4-3 共有設定されたドライブの表示

# 7.5 他のコンピュータへの接続

以下の手順に従い、他のコンピュータに接続します。

 Windows デスクトップ上の「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルク リックします。接続されているコンピュータが表示されます。



図 7.5-1 「ネットワークコンピュータ」表示

- (2) 表示されているコンピュータのアイコンから接続したいコンピュータをダブルク リックします。
- (3) 共有設定で、「共有する」と設定されたドライブが表示されます。
- (4) 上記(3)で表示されたドライブをダブルクリックすると、「共有する」と設定されている中身(ファイルやフォルダ)が表示され、アクセスが可能となります。

重要:タイミングによって接続したいコンピュータが表示されない事もあます。その際は、 「ネットワークコンピュータ」を再表示、または「表示」メニューの「最新の情報に更新」 を選択してください。

以上で ネットワークの設定は全て完了です。

# 8 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

# 8.1 LINK LED は点灯していますか?

LINK LED は、接続先機器(ハブやスイッチ)と正しく接続されている場合に点灯します。 LINK LED は、本製品と接続先機器の両方に存在します。本製品と接続先機器の両方の LINK LED が点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、また は両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- 接続先機器の電源がオンになっているか確認してください。
- UTP ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品と接続先機器との接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。
- 接続先機器のポートの設定が正しいか確認してください。機器によっては、機器同士 を接続するためのポート(カスケードポート)を持つものがあり、通常カスケード ポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続するとき は、カスケードポートの設定スイッチで同ポートを「MDI-X」や「to pc」に設定し なければなりません(通常のハブやスイッチのポートとして設定する)。
- 接続先機器の特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポート に差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTP ケーブルに問題はありませんか? ケーブルの不良は外観から判断しにくいため (結果は良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試験してみてください。
- 接続先機器の通信速度を確認してください。各OSの「ドライバーの設定」を参考にして、接続先機器に合った速度を選択してください。

# 8.2 LINK LED は点灯しているが...

LINK LED は点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTP ケーブルの長さは正しいですか? ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは、最長 100mと規定されています。
- 正しい UTP ケーブルを使用していますか? 100BASE-TX では「カテゴリー 5 」 10BASE-Tでは「カテゴリー3」以上のUTPケーブルを使用しなければなりません。

 UTP ケーブルに問題はありませんか? ケーブルの不良は外観から判断しにくいため (結線は良いが特性が悪い場合など)他のケーブルに交換して試験してみてください。

## 8.3 Auto-Negotiation 機能

インストール直後には本製品の通信設定は「Auto-Negotiation」に設定されており、接続 先機器との通信速度(100/10Mbps)やモード(Full/Half Duplex)は、本製品のAuto-Negotiation機能によって自動的に設定されます。しかしながら、Auto-Negotiationをサポー トしていない機器に接続した場合、正常に機能しない場合があります。Auto-Negotiation 設 定で正常に接続できない場合は次の対応表を参考にして、本製品および接続先機器の設 定を変更してください。設定の変更方法については 各OSの「ドライバーの設定」を参照 してください。

		corega FEther PCI-TXL					
		10M Half	10M Full	100M Half	100M Full	オートネゴ	
接続先	10M Half	0	-	-	-	0	
	10M Full	-	0	-	-	-	
	100M Half	-	-	0	-	0	
	100M Full	-	-	-	0	-	
	オートネゴ	0	-	0	-	0	

図 8.3-1 通信モード対応表

接続先機器がHalf duplex(半二重)のみに対応している場合、本製品を Full duplex(全二 重)に設定すると、ネットワーク障害の原因となりますので避けてください。この場合は、接 続先機器と同様にHalf duplex に固定するか、Auto-Negotiationを選択してください。

# 8.4 ハードウェアの故障

以下のような現象の場合は、ご使用コンピュータの PCI バスや本製品の故障と思われます。

昨日まで正常に動作していたのに、急に通信ができなくなってしまった。

このような場合は、「PCI パスのハードウェア診断」を行う必要があります。現象および調査 内容を本マニュアル巻末の「調査依頼書」に明記の上、corega サポートセンターまで FAX してください。(詳細は「Eユーザーサポート」(p.102)をご覧ください。)

# 付録

# A 製品仕様

- 1. ハードウェア仕様
  - ・サポート規格: IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX、IEEE802.3u Auto-negotiation、IEEE802.3x Flow control

2. 機械的仕様

- PCI インターフェース: PCI ローカルバス仕様 Rev. 2.2 に準拠
- 外形:73 [mm] × 120 [mm] (ブラケット部分を除く)
- 重量:カード:約65g
- 3. 電気的仕様
  - 動作電圧: DC +5V
  - 消費電流:最大200mA
- 4. 環境条件
  - 動作保証温度:0~55
  - 保存温度:-10~60
  - 動作・保存湿度:10%~90%(ただし結露なきこと)

5. 電気雑音の発生防止

- 取得承認: EMI 規格 VCCI クラス B
- 6. ネットワーク機能
  - 転送速度:100Mbpsまたは10Mbps
  - 通信モード:半二重または全二重

7. 使用するハードウェア資源 1

割り込み(IRQ):1 チャネルを使用

これらは、PCIローカルバス仕様により自動的に設定されます。ボード上あるいはソフトウェアから設定する必要はありません。

I/Oアドレス:連続した128 バイトを使用

# B ネットワークインターフェース

100BASE-TX/10BASE-Tインターフェース(MDI)は RJ-45型と呼ばれるモジュラージャックが使用されています。



図 B-1 RJ-45 モジュラージャック、プラグ

ピン番号	信号 (MDIポート)			
1	送信データ(+)			
2	送信データ(-)			
3	受信データ(+)			
4	未使用			
5	未使用			
6	受信データ(-)			
7	未使用			
8	未使用			

図 B-2 信号線名



図 B-3 UTP ケーブル (ストレートタイプ)

# C MAC **アドレス**

イーサネットに接続される機器は、MAC アドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行いま す。MAC アドレスは機器(アダプター)のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の (unique、ユニークな)アドレスです。

MAC アドレスは 下記の6 バイト(48 ビット)によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品の MAC アドレスは、製品に貼付されている MAC アドレスラベルに記入されています(表記は全て16進数)。

00	90	99	XX	XX	XX
ベンダー ID			通し番号		

・ ベンダー ID

LANベンダー(LAN 用機器を製造しているメーカー)がIEEE に申請することにより 得られる識別番号です。

通し番号

この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたものです。この通し番号と本製 品の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はありません。

MAC アドレス (マックアドレスと読みます)は 物理アドレス、ネ水ワークアドレス、イー サネットアドレスなどと呼ばれることもあります。また、MAC アドレスは、TCP/IP の環境で 使用される IP アドレスに関係があますが、これらは別々のものです。

### D 保証と修理について

保証について

本書に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用く ださい。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用 した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は保 証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品(ドライバーディスクは除く)の 保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行わ れているかを確認してください。現象が改善されない場合は、巻未の「調査依頼書」をコ

#### 付録

ピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書を添付し、弊社サポートセンター宛てに製品 を送付ください。製品を送付する際は、以下の点にご注意ください。

- 弊社サポートセンターへ製品を送付する際の送付料金につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 宅急便などの送付状の控えが残る方法で送付願います。(普通郵便による送付は、固 くお断りいたします。)
- 修理期間は、製品到着後、約10日程度(弊社営業日数)を予定しております。

製品送付先

〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-19-20

(株)コレガ corega サポートセンター宛

# E ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項を ご記入の上、下記の番号まで FAX してください。できるだけ電話による直接の問い合わせ は避けてください。FAX によって詳細な情報を送付していただくほうが、電話による問い合 わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書の 記入について」をご覧ください。

Tel: 045-476-6268 10:00-12:00、13:00-17:00 月~金(祝・祭日を除く) Fax: 045-476-6294 年中無休 24 時間

† 電子メールでのユーザーサポートの受付および対応は、実施しておりません。上記のいずれかの方法でお問い合せください。

#### E.1 調査依頼書の記入について

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記 入いだだくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせく ださい。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

ハードウエアとソフトウエア

本アダブター上に貼られたラベルに記入されているシリアル番号 (S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。

S/N 0047744990805087 Rev A1

(例)

- ご使用になっているソフトウエアの種類 / バージョン(Ver.)を記入してください。
   これらは、ドライバーディスクのラベル上に記入されています。
- 他社のインターフェースボードやユーティリティをご使用の場合は全てご記入ください。
- 接続しているサーバーの機種とその環境も可能な限りご記入ください。

お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り
   具体的に(再現できるように)記入してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容をブリントアウトしたものなどを添付してください。
- 障害などが発生する場合には、本アダプターと併用されているユーティリティや、ア プリケーションの処理内容もご記入ください。

ネットワーク構成について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を 添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

#### E.2 システムリソースレポート添付のお願い

お問い合わせの際には可能な限()システムリソースレポート(お使いのパソコンの詳細情報を OS が自動作成するレポート)を出力の上 「調査依頼書」に添付いたたきますようお願いいたします。システムリソースレポートを出力する手順は以下の通りです。

- (1) コントロールパネルから「システム」を起動し「デバイスマネージャ」タブを表示します。
- (2) 「印刷…」ボタンをクリックします。
- (3)「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

システムレポートの出力例 (Windows98 Second Edition の例)



#### E.3 最新ドライバーの入手方法

弊社は、改良のために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやバッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーは、弊社のホームページから入手することができます。また、このホームページでは FAQ、パリコンの動作検証リストなどの情報もご案内しておりますので、ぜひご覧ください。

 Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などのWeb ブラウザーを使用 して、次のアドレスにアクセスしてください。

http://www.corega.co.jp/

(2)「サポート」「LAN アダプター・ドライパーソフトダウンロード」をクリックしてください。

(3) ご希望のドライバーをクリックしてください。

### E.4 「corega Net-News」のご案内

「corega Net-News」は、株式会社コレガがお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など耳よりな情報をお届けいたします。メール配信サービスをご希望のお客様は corega ホームページでご登録ください。なお、メール配信サービス はどなたでもご登録いただけます。

#### 

# F おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊 社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いか ねますのでご了承ください。

© 2000株式会社コレガ

corega は 株式会社コレガの登録商標です。

Windows、WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における 登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標ま たは登録商標です。

2000年 05月 Rev.A 初版



# 調查依頼書(corega FEther PCI-TXL 1/2)

年月日

一般事項

- 会社名(個人名): 部署名: ご連絡先住所:〒 TEL:()
- 2. 購入先:

購入先担当者:

FAX:( ) 購入年月日: 購入先 TEL:( )

フリガナ・

ご担当者:

ハードウェアとソフトウェア

- ご使用のカードのシリアル番号、製品リビジョン
   製品名:corega FEther PCI-TXL
   ドライバーディスクのバージョン:Ver.\_\_\_\_\_pl.\_\_\_\_
   ご使用のコンピュータ機種と併用している他メーカーの拡張アダプター(ボード) コンピュータのメーカー名/機種
   OS とパージョン 拡張アダプターのメーカー名/機種
- ご使用のサーバー機種(UNIX、NetWare、Windows NT など) コンピュータのメーカー名 / 機種 OS とバージョン

お問い合わせ内容

 別紙あり
 別紙なし

 設置中に起こっている障害
 設置後運用中に起こっている障害
## 調查依頼書(corega FEther PCI-TXL 2/2)

ネットワーク構成

別紙あり 別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書など にしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修 理をお約束するものです。

LAN アダプター本体:製品保証書に記載の"保証期間"で無償保証とします。
(ただし、本規定の他の条項に準じます。)

• 本体付属品(ドライバーディスク、WOLケーブルなど): 3ヶ月間保証

保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または 代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保 証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。<u>送料はそれぞれ送</u> 付元<u>負担とさせていただきます。</u>

保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていた たきます。(ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交 換・サービスはご利用いただけます。)

1. 使用上の誤り または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷

- 2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
- 3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、静電気、異常電圧 などの外部要因によって生じた故障および損傷
- 4. 接続された他の機器が原因で生じた故障および損傷
- 5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
- 6. 消耗品の交換(バックアップ電池など)
- 7. 製品保証書の提示がない場合
- 8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

本製品に付属のドライバー・ソフトウェアが他社の提供するハードウェア、またはアプリケーション・ソフトウェアと共有できるという動作保証、および使用によるその他の 損害についての保証は行いません。

本ハードウェアが他社の提供するソフトウェア またはアプリケーション・ソフトウェア と共有できるという動作保証、および使用によるその他の損害についての保証は行 いません。

修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。

製品保証規定は本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障 または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとし ます。

製品保証書は日本国内のみで有効です。

製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

LARKELLARKELLARKELLARKELLARKELLARKELLARKELLARKELLARKELLARKELLARKELLAR

殺	而休祉者	(一千休記	E)
この製品保証 (裏面)に基	E書は、株式会社: 基づき、製品の無償	コレガが定める製品 賞修理をお約束する	品保証規定 るものです
製品名	corega FEther	PCI-TXL	
シリアル番号 (S/N)			
ご購入日			
製品保証に core 〒222 TEL 受 FAX	E関するお問い合れ egaサポートセン 2-0033 横浜市港北区 : 045-476-6268 け付け時間: 10:00- 月~金 : 045-476-6294	つせ先 ター 新横浜1-19-20 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00 c (祝・祭日を除く) · 年中無休24時間	)
販売店様印	]		
本保証書にお ますので予め 製品名、シリ	買い上げ販売店の記名及 ご了承ください。 アル番号、ご購入日を7	なび押印が無い場合は、	有償扱いとなり